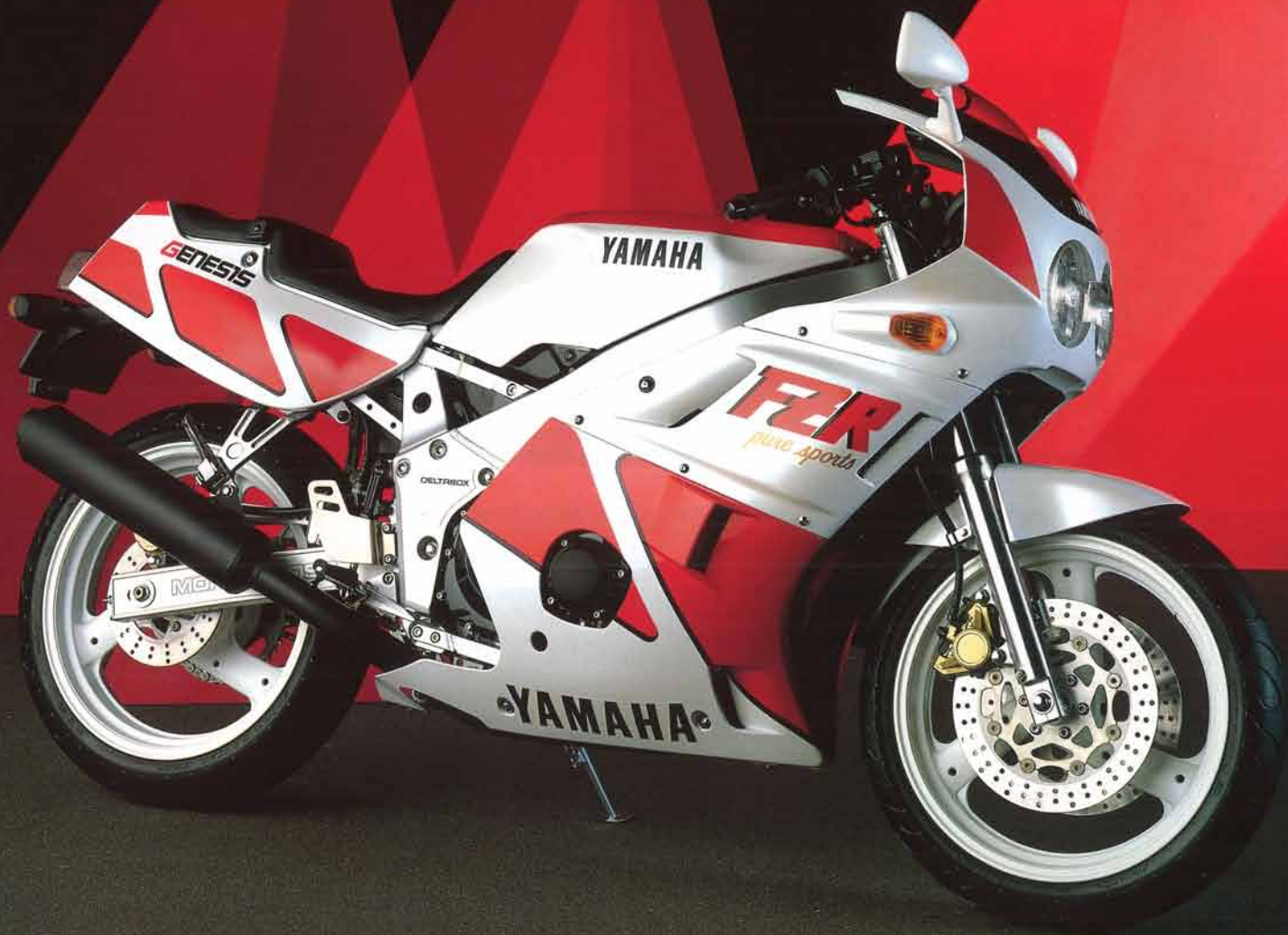


話題のニューモデル続ぞく登場!

FZR400 FZX750 YSR50
NEW FZ250 PHAZER NEW JOE



ジェネシス・パワー+アルミ・デルタボックスフレーム

FZR400いよいよ登場!

- カラー：シルキーホワイト/ファインレッド
ファラウェブルー（7月下旬発売予定）
- 標準現金価格：69万8千円（北海道、沖縄は6千円高）

〈ジェネシス・パワー〉前傾45° DOHC・4バルブ・インラインフォーエンジンを、高剛性アルミ・デルタボックスフレームに搭載して、『FZR400』が、いよいよ5月10日より新登場します。このFZR400は、レーサーレブリカを超えたビュアなスポーツとして圧倒的な人気を集めているTZR250と同一コンセプトのもとに開発した最強の4サイクル・ミドルスーパースポーツ。ヤマハテクノロジーの粋を結集して鍛えぬいた走りのクオリティに加えて、車格感、品質感も徹底的につくり込んだ、まさに“ヤマハ・ワークス・クオリティ”ともいえるハイプレステージマシン。同時に、750cc、400cc、250ccのラインアップ化を完成した、〈ジェネシス〉シリーズのシンボル・モデルです。

59 PS/12000rpmの最高出力、3.9kg-m/9500rpmの最大トルクを発揮する45°前傾エンジン。この高性能は、ジェネシスの象徴・ダウンドラフト吸気による吸気効率、理想的な4バルブ燃焼室による燃焼効率、4into1マフラーによる排気効率、さらに細かいロス馬力の低減など徹底したエンジン効率の追求によって実現したもので、クロスレシオ6速ミッションとのコンビネーションによって生み出される走りは、回転全域で一段とシャープでかつパワフル。エンジン回転を50rpmごとにデジタル検出して点火時期をコントロールするデジタル式フルトランジスタ点火も、この高性能化に大きく貢献しています。

軽量・コンパクトなニューエンジンを搭載したフレームは、YZR500の技術成果から生まれたアルミ・デルタボックスフレーム。従来モデルよりも45%もの剛性アップを果たしたこのフレームと、低重心化、重量配分の前後輪均等化を促進した45°前傾エンジンの組み合わせによって群を抜く運動性能を発揮します。（リヤフレームは脱着式）

38 φの大径インナーチューブで高剛性を確保したフロントフォークとリンク式モノクロスサスペンションもアルミ・デルタボックスフレームとともにFZR400のすぐれた操安性を生み出しているもの。イニシャル荷重7段階調整付のリヤ・サスペンションは、クッション取付部にピロボール、リンクまわりにニードルベアリングを採用してフリクションを低減、また軽量アルミ・リヤアームでバネ下重量を軽減させています。

クラス初の偏平ラジアルタイヤの採用もFZR400の操安性向上に大きく寄与しています。フロント3.00-17、リヤ4.00-18の中空スポーク・ワイドリムに装備したこの偏平ラジアルタイヤは、前110/70R-17、後140/60R-18、コーナリングでの限界性能を高め、すぐれたウェット性能を発揮しながら同時にころがり抵抗の低減による燃費の低減や耐摩耗性の向上も実現しています。

ブレーキは、フロントに282φの大径ディスクをダブルでフローティング mounts、リヤにシングルで装備したトリプルディスク。パッド材質、ブレーキホース膨張率、レバー比、ミュー特性、ディスク材質まで細かく吟味し、マニアの心を魅了する絶妙のタッチフィーリングを生み出しています。

フェアリングは、CdA値0.280のすぐれた空力特性を持つフルフェアリング。理想的なエアロ・シルエットに加え、翼形断面ミラーステーやビルトオンフラッシュャーもこの空力特性向上に大きな効果をもたらしています。



大容量エアクリーナーとその後に配した18ℓ燃料タンクをカバーするタンクカバーは、F1ファクトリーマシン「YZF750」と同タイプの軽量・樹脂一体成形。タンクキャップはエアブレンディングです。

市販レーサーTZと同タイプのシンプルな3速メーター、ロードレーサーと同じフットレスト同軸式のブレーキ、チェンジベダル（アルミ鍛造製）など、すみずみまでレーサーライクなつくり込みを徹底させています。

35 W/35Wハロゲン・軽量樹脂レンズ、デュアルヘッドランプ

アルミ鍛造セパレートハンドル

ライディングポジションの自由度を高めたセパレート・シート

■FZR400仕様諸元

- 全長2040mm ●全幅690mm ●全高1125mm ●シート高785mm ●軸間距離1400mm ●最低地上高135mm ●乾燥重量157kg ●舗装平坦路燃費53km/ℓ (60km/h) ●登坂能力28° ●最小回転半径3.1m ●制動停止距離14m (50km/h)
- エンジン水冷4サイクル・DOHC・4バルブ並列4気筒・399cc ●内径×行程56×40.5mm ●圧縮比11.5:1 ●最高出力59PS/12000rpm ●最大トルク3.9kg-m/9500rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●冷却液容量1.9ℓ ●エンジンオイル容量3ℓ ●燃料タンク容量18ℓ ●キャブレター型式BDS32 ●点火方式トランジスタ ●点火プラグG1、U24ES-N ●バッテリー容量12V12Ah ●バッテリー型式GM12AZ
- 1次減速(比)ギヤ(2.170) ●2次減速(比)チェーン(2.933) ●変速機リターン式6段 ●変速比①3.307②2.222③1.714④1.434⑤1.272⑥1.173 ●フレーム形式アルミ・デルタボックス・ダブルクレードル ●キヤスタ24° ●トレール89mm ●タイヤ(前)110/70R17 53H(後)140/60R18 64H ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式ディスク ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝装置オイルダンパー+コイルスプリング(前後とも) ●ヘッドランプ12V35W/35W ●マーカーランプ12V3.4W ●テールランプ12V5W ●ストップランプ12V21W ●フラッシュャーランプ12V21W

ジェネシスの新しい世界 ニューパフォーマンス・クルーザー FZX750

- カラー：オリオンシルバー
- 標準現金価格：74万5千円（北海道、沖縄は7千円高）

昨年秋の東京モーターショーで大きな話題を呼んだFZX750が、5月1日より国内登場します。このFZX750は、ニュージャンルの開拓によって、新しいスポーツバイク市場の創造をめざす“ニューパフォーマンス・クルーザー”。

レーシーモデルに匹敵するスーパーパフォーマンスと、これをカジュアルな気分で楽しめるスタイリングやライディング・ポジション、さらに所有する喜びを堪能させる存在感あふれる個性的なフォルムなど、FZX750のすべてはヤマハ4サイクル・パフォーマンス思想（ジェネシス）によってはじめて実現されたもの。それは、経験豊かな大型二輪ユーザーに、かつてなく新鮮なモーターサイクルの世界を提供します。



■FZX750仕様諸元

- 全長2230mm ●全幅785mm ●全高1110mm ●シート高750mm ●軸間距離1530mm ●最低地上高150mm ●乾燥重量203kg ●登坂能力31°
- 最小回転半径2.77m ●制動停止距離14m (50km/h)
- エンジン水冷4サイクル・DOHC・5バルブ・並列4気筒・749cc ●内径×行程68×51.6mm ●圧縮比11.2:1 ●最高出力77PS/8500rpm ●最大トルク7.1kg-m/6000rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●冷却液容量0.65ℓ ●エンジンオイル容量3.5ℓ ●燃料タンク容量13ℓ ●キャブレタ型式BDS34 ●点火方式トランジスタ ●点火プラグDP8EA-9, DP7EA-9, X24 EP-U9, X22EP-U9 ●バッテリー容量12V14A ●バッテリー型式YB14L ●1次減速(比)ギヤ(1.895) ●2次減速(比)チェーン(2.235) ●変速機リターン式6段 ●変速比①2.923②2.187③1.777④1.500⑤1.272⑥1.125 ●フレーム形式鋼管ダブルクレードル ●キャスト28°45' ●トレール114mm ●タイヤ(前)110/90-16 59H(後)140/90-15 70H ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式ディスク ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝装置(前)コイルスプリング+エア(後)コイルスプリング+ガス ●ヘッドランプ12V 60W55W ●マーカーランプ12V 3.4W ●テールランプ12V 5W ●ストップランプ12V 21W ●フラッシャーランプ12V 21W



登場! 二



エンジンには、FZ750でジェネシスの真価を存分に実証している前傾45°、5バルブDOHC、4気筒をベースに、とくに中低速・常用域での加速性能を向上させたもの。つまり、カムプロフィールの変更やエキゾーストパイプの連結などによって中低速での高い吸排気効率と燃焼効率を実現し、毎分8500回転で77馬力の最高出力と、6000回転でじつに $7.1 \text{ kg}\cdot\text{m}^2$ という強大なトルクを生み出しています。

また、このエンジンのマウントは、リジットとラバーマウント併用の3点式として快適な乗り心地を確保し、あわせて車体剛性をアップさせています。

フレームは、角型と丸型の鋼管を組合わせた新設計のダブルクレードルタイプ。とくにメインフレーム前部の幅を狭め、キャブレター部分でエンジンと融合する独創的なフレームワークによって十分な剛性を確保し、同時に750mmの低シート高とス

リムで自由なライディング・ポジションを実現しています。

すぐれた操縦安定性とひととき軽快なハンドリング特性を両立させるために、高剛性フレームとあわせてフロントフォークにはエア圧併用式のテレスコピックタイプを、またリヤサスペンションには、窒素ガス封入式ダンパーを装備しています。とくにこのリヤ・サスは、微少ストロークの応答性にすぐれたもので、より快適な走りを約束します。

—ユーバフォーマンス・クルーザーならではの**—**パワフルで、フレキシブルな走りを生み出すのが、フロント110/90-16、リヤ140/90-15のワイドな小径タイヤ。またアルミホイールも、ハイテックイメージのディッシュタイプです。

フロントにダブル、リヤにベンチレーティッドタイプをシングルで配した、対向ピストンキャリバー装備のトリプル・ディスクブレーキ。

従来の燃料タンク(FZX750ではエアクリナーカバー)上に設けたインジケーター。

非対称のシンプルなスピードメーター&タコメーター。

シャープなリムレスタイプのスクエア・ヘッドランプ。

先進性を主張するエアクリナーカバー、キープレークバーからシリンダー、エキパイ、マフラーへと続くデザインライン。



■YSR50仕様諸元

●全長1575mm ●全幅635mm ●全高930mm ●シート高650mm ●軸間距離1055mm ●最低地上高120mm ●乾燥重量75kg ●舗装平坦路燃費80km/ℓ(30km/h) ●登坂能力18° ●最小回転半径2.4m ●制動停止距離3.5m(20km/h)

●エンジン2サイクル・ピストンリードバルブ・単気筒・49cc ●内径×行程40×39.7mm ●圧縮比7.4:1 ●最高出力7PS/8800rpm ●最大トルク0.59kg-m/8500rpm ●始動方式キック式 ●潤滑方式ヤマハオートループ ●オイルタンク容量0.7ℓ ●燃料タンク容量8ℓ ●キャブレタ型式VM16SH ●点火方式CDI ●点火プラグBRHS ●バッテリー容量6V4Ah ●1次減速(比)ギヤ(3.578) ●2次減速(比)チェーン(3.666) ●変速機リターン式5段 ●変速比①3.250②2.000③1.428④1.125⑤0.961 ●フレーム鋼管ダイヤモンド型 ●キヤスタ26° ●トレール67mm ●タイヤ(前)3.50-12-2PR(後)4.00-12-2PR ●ブレーキ(前)油圧式ディスク(後)ドラム ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝装置オイルダンパー+コイルスプリング(前後とも)

●ヘッドランプ6V 25W/25W ●テールランプ6V 3W ●ストップランプ6V 10W ●フラッシャーランプ6V 8W

YSR FAIR

開催中!

を強力に推進するために、4月2日半にわたるロングラン・フェアを開催しています。ルとそれにつづく発表展示会・試乗お客さまを獲得していただくというプレミアム、ツール類をご活用のおうえ、YSRフェア"をご展開ください。



オーナーズプレート



オーナーズプレート・ケース



告知用チラシ



テレホンカード



ジャンボポスター



ステッカー



ジャンボポスター

- ル) <YSR50サポートツール>
- YSR50カタログ
 - YSR50ポスター
- ト
- 店飾キット
 - T.TAIRA with '86YZR500ジャンボポスター(8倍サイズ)
- ケース
- T.TAIRA with '86YZR500テレホンカード
- 合わせください。

遊びどころで、新市場を拓く 50ccスポーツの新しい風 YSR50

- カラー：ホワイト/ファラウェーブルー
- 標準現金価格：18万9千円（北海道、沖縄は3千円高）

気分はまさにYZR500。コンパクトなボディにレーシング・スピリットを満載して新登場のYSR50は、50ccスポーツ市場の再活性化をめざして開発した期待の新商品です。

その“遊びどころ”あふれる商品性と、新しいライディング・スポーツ感覚の走りは、これまでになく大きな需要開拓と底辺拡大の可能性を秘めたもの。どうぞ、お店ならではの“遊びどころ”をプラスして、ヤング、女性、アダルト、新規、代替、増車……と幅広いお客さまにおすすめてください。

7 PS/8800rpmの最高出力を発揮する空冷2サイクル・YEIS装備のエンジンとリターン式5速ミッションとパワーユニットも本格派。高い信頼性とメンテナンスフリーのCDI点火やチャンバータイプマフラーの採用とあわせて、小気味よい加速感を十分に満喫させてくれます。

フォルムも、カラーもヤマハ・ファクトリーマシンYZRゆずり。さらにレーシング・シート、アルミ製フットレスト、低くセットしたセパレートハンドルが作り出すライディング・ポジションも、まさにGPレーサー感覚です。

フレームは、角型鋼管ワイドタイプのダイヤモンド型。フロントのテレスコピック・フォーク、リヤのモノクロスサスペンションさらにフロン

ト3.50-12、リヤ4.00-12のワイドタイプ・チューブレスタイヤの組合わせて、クイックで、安定したコーナリングを楽しませてくれます。

ボディはコンパクトでも、走る・曲がる・止まるの基本機能は万全。フロントには油圧式ディスクブレーキを装備して、どんなテクニカルなライディングにも、しっかりと応えます。

透過照明式白メーター、アルミ製エアブレンタイプ・タンクキャップ、ライニングの摩耗がひと目でわかるリヤブレーキの指針式摩耗インジケーター、メインスイッチ一体構造のハンドルロック……など充実の装備が、YSR50のスポーツ・ライディングを一層もりあげます。



TEAM YSR 好評

このYSR50の市場導から6月20日まで約2ヵ月「TEAM YSRフェア」を開催。5月下旬までの予約セッションの展開によって、新しいもの。豊富に用意したお店でも積極的な“チー

＜TEAM・YSR・FAIR展開＞

- 告知ポスター（A2サイズ）
- 告知用チラシ（A4サイズ）
- 予約申込み書
- TEAM YSRオーナーズプレート
- DM専用封筒
- TEAM YSRステッカー
- TEAM YSRオーナーズプレート

※詳しくは担当セールスマンにお

FZ250フェーザー 発売一周年記念特別限定車

- カラー：ファインシルバー
- 標準現金価格：52万5千円
(北海道、沖縄は6千円高)

5月1日発売



2サイクルを越えた4サイクル・スーパーオートーとしてクラス・ナンバー1の人気を集めるFZ250フェーザーが、走行性能と商品性をさらにアップして、7月1日より新登場します。

これに先がけて、5月1日からはこのニューFZ250フェーザーに、高性能タイヤ・ピレリMT45 ZETAを装着した一周年記念特別限定車も発売いたします。お客さまへのご案内よろしくおねがいたします。

ピレリ装着の特別限定車も登場 ニューFZ250フェーザー

- カラー：シルキーホワイト/レジナブルー
シルキーホワイト/ストーミーレッド
- 標準現金価格：51万5千円 (北海道、沖縄は6千円高)



ニューFZ250フェーザーの新たな特徴

吸 排気効率の向上によって中速域のレスポンスをアップ。トルクを大幅にフラット化して、最高出力45PS/14500rpm、レッドゾーン16000rpmの高性能エンジンを一段と扱いやすいものとしています。

リ ヤにもディスクブレーキを装備。対向ピストンキャリアバー、セミメタルパッド採用のトリプル・ディスクブレーキとして、さらに強力で安定した制動力を生み出しています。

— ユーカラー&ニューグラフィックでフレッシュ・アップ。



■FZ250フェーザー仕様諸元

- 全長1950mm ●全幅690mm ●全高1060mm ●シート高750mm ●軸間距離1350mm
- 最低地上高130mm ●乾燥重量139kg ●舗装平坦路燃費51km/ℓ (50km/h) ●登坂能力27° ●最小回転半径2.6m ●制動停止距離14m (50km/h)
- エンジン水冷4サイクル・DOHC・4バルブ・並列4気筒・249cc ●内径×行程48×34.5mm ●圧縮比12:1 ●最大出力45PS/14500rpm ●最大トルク2.5kg-m/11500rpm ●始動方式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●エンジンオイル容量2.7ℓ ●燃料タンク容量12ℓ ●キャブレター型式BDS26 ●点火方式フルトランジスタ ●点火プラグG1、G2、G3 ●バッテリー容量12V10Ah ●バッテリー型式GM10-3A
- 1次減速(比)ギヤ(2.542) ●2次減速(比)チェーン(3.058) ●変速機リターン式6段 ●変速比①3.090②2.214③1.777④1.500⑤1.315⑥1.173 ●フレーム鋼管ダブルクレードル ●キャスト25°45' ●トレール80mm ●タイヤ(前)100/80-16 50S(後)120/80-16 60S ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク ●懸架方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝装置(前)オイルダンパー+コイルスプリング(後)ガス+オイルダンパー+コイルスプリング
- ヘッドランプ12V 60W/55W ●マーカランプ12V 3.4W ●ストップランプ12V 21W ●テールランプ12V 5W ●フラッシャーランプ12V 21W ●メータ照明および各種パイロットランプ類12V 3.4W

よりカジュアルに、よりパワフルに

ニューJOG 5.3馬力で新登場

●標準現金価格：10万9千円（北海道、沖縄は3千円高）



完成されたスタイル、きびきびした走り、手頃な価格……3拍子そろったスクーターのスタンダードとして最高の信頼を集めるヤマハ・ジョグが、5.3馬力にパワーアップ。同時によりカジュアルにイメージチェンジして5月6日より新発売となります。

ニューJOGの新たな特徴

5 .3馬力にパワーアップ。
トルクカム付ニューパワフルマチックとの組み合わせによる定評の走りは、さらに力づよさを増しています。

デザインを一新した
ニューメーターパネル。

カラード・フートボード、フートボードと同色のシート、ホワイトホイール、ニューグラフィックで、フレッシュにイメージチェンジ。ホワイト、ピンク、グリーンのパステルカラー3色はヤングに、ブルーとレッドの基本色はヤングからアダルトまで、幅広いジョグのお客さまに幅広くおすすめいただける5つのカラーバリエーション。

クリーミーホワイト/スイートグリーン



■ジョグ仕様諸元

●全長1555mm●全幅605mm●全高965mm●シート高690mm●軸間距離1075mm●最低地上高100mm●乾燥重量54kg●舗装平坦路燃費80km/ℓ(30km/h)●登坂能力20°●最小回転半径1.6m●制動停止距離3.5m(20km/h)●エンジン2サイクル・ピストンリードバルブ・単気筒・49cc●内径×行程40×39.2mm●圧縮比6.7:1●最高出力5.3PS/7000rpm●最大トルク0.57kg-m/6000rpm●始動方式セル・キック併用●潤滑方式ヤマハオートループ●オイルタンク容量0.8ℓ●燃料タンク容量3ℓ●キャブレタ形式Y12P●点火方式CDI●点火プラグBP-4HS他●バッテリー容量12V4Ah●バッテリー型式YB4L-B、FB4L-B、GM4-3B●1次減速(比)ギヤ(3.5)●2次減速(比)ギヤ(3.454)●クラッチ乾式内括重鎖式●変速機Vベルト自動無段変速●フレーム鋼管アンダーボーン●キャスト25"●トレール62mm●タイヤ2.75-10-2PR(前後とも)●ブレーキ機械式ドラム●懸架方式(前)テレスコピック(後)ユニットスイング●緩衝装置●(前)コイルスプリング(後)オイルダンパー●コイルスプリング●ヘッドランプ12V25W/25W●テールランプ12V5W●ストップランプ12V21W●フラッシャーランプ12V10W

クリーミーホワイト



クリーミーホワイト/
コーラルピンク



コスミックブルー/
クリーミーホワイト



アップルレッド/
ヤマハブラック



特集

2年目をむかえて パワーアップ、イエス!

充実したバイクライフの提供を通じて、お店とお客さまとの関係を
一層親密にする新しいユーザークラブ「Y.E.S.S.」が、
2年目をむかえてますますパワーアップ。
より充実した特典群と盛りだくさんのイベントで、
確実にお客さまを守り、つかみ、創り、そして増やしつづけています。
そこで今回は、2年目をむかえてますます拡大する
Y.E.S.S.のご商売における役割と、
全国のY.E.S.S.ショップさんの活動ぶりを特集しました。





充実したバイクライフの
提供で、お客さまを守り、
つかみ、創り、そして増やす

Y.E.S.S.

オリジナル企画で
活性化するツーリング活動

- ジェット・ツーリング
- バイクビレッジ

お客さまのバイクライフを
充実させる豊富な特典群

- 交通事故傷害保険付スタッフカード
- Y.E.S.S.イベント参加料金割引
- Y.E.S.S.提携施設、特選宿泊施設
利用料金割引
- バイク119番、バイク運搬システム
- その他ブロック別特典



豊富なスポーツ・レジャー
情報の提供

- 「WAY」「Y.E.S.S.ぶれす」
- Y.E.S.S.ビデオライブラリー
- 各種モータースポーツ情報



成熟時代の「商売のカギは
お客さまを守り、育（な）す」

2年目を迎えます。ますます充実するY.E.S.S.の活動をマニュアル風に整理したのが、上のチャートです。これをもとに、まずは現在の二輪販売におけるY.E.S.S.活動の大きな意義を再確認しておきましょう。

ご承知のとおり、二輪車市場は成熟時代に入り、かつてのような急激な需要の拡大は望むべくもありません。当然、こうした時代のご商売として、いまみなさまのお店の経営基盤強化のために一番求められていることは、商品やサービス、つまりご商売の付加価値を高めていくこと。同時に見込み客の段階からお客さまをしっかりと管理し、固定客化して販売後もお客さまとの長いおつきあいを大切に育てあげていくことです。

では、そのためには何をしたらよいのか？
いうまでもなくそれは、お客さまのニーズをしっかりと把握し、いつもお客さまに満足感、信頼感を与えつづけることです。

スクーター、スポーツバイクいずれも、暮らしの道具としてよりも「生活を楽しむための道具」としての色彩を日毎につよめている昨今では、とくに「遊びの提供」とそれに付随したサービスや情報の提供によって、たえずお客さまに満足感を与え、信頼できるお店として長いおつきあいをつづけていくことです。

**お客さまを、いつでも
お客さまでありつづけさせる活動、
それがY.E.S.S.**

そして、まさにこの「遊びの提供」によってお客さまに満足感を与えつづけ、長いおつきあいを育てあげていくための活動、それがY.E.S.S.なのです。

まず、お客さまのY.E.S.S.スタッフ化によ

お客さまに多彩なスポーツレジャーライフを 提供する活発なイベント開催

健全なモータースポーツの 世界をひらくレース活動

- モトクロス●トライアル
- スクーターレース

楽しさと安全をむすぶY.R.S.

- オフロードY.R.S.
- Y.R.S.サーキットランコース



Y.E.S.S.サマーフェスティバル



つて見込み客段階（ジュニア・スタッフ）からお客さま管理（スタッフデータの活用）を徹底し、それにもとづいて活発な遊びの提供を行ないお客さまを固定客化し、成熟市場のご商売の中心となる代替をより円滑に促進して経営の安定化をはかる、それがY.E.S.S.活動。いいかえればそれは、「販売店さんの主体的な活動によって、バイクユーザーをいつまでもバイクユーザーでありつづけるための活動、自店のお客さまをいつまでも自店のお客さまでありつづけさせるための作業」ともいえるのです。

Y.E.S.S.ショップ独自の 特典開発やイベント提供で、 さらにパワーアップを！

'84年の秋から加盟店さんの募集を開始し、昨年から本格的な活動を開始したY.E.S.S.は、初年度にして早くも右のような意味において大きな成果を収めてきました。

ジェット・ツーリングやバイクビレッジに代表される大規模なイベントから、サマーフェスティバル、サーキットランやツーリング大会など地域単位の活動、さらには販売店さん独自の活動によって、有力見込客の獲得、Y.E.S.S.ショップとしての他店との差別化による来店促進、スポーツバイクを中心とした代替増車の促進、マーケットリーダーの育成などその効果は、確実にY.E.S.S.ショップさんのご商売の基盤強化に結びついています。

そして、いまこうしたY.E.S.S.のパワーをお店のパワーとして、さらに強化していくために、とくに販売店さんに望まれているのが、販売店さん独自の特典の開発やイベントの提供なのです。

こうした背景をふまえながら、以下にご紹介する販売店さんの活動例を参考に、どうぞお店でも昨年以上に活発なY.E.S.S.活動を展開ください。

お客さまのバイクライフを100% 充実させる豊富な特典群

お客さま一人ではなかなか利用できない、また販売店さん1店では設定しにくい、さまざまな特典を通じて、お客さまのバイクライフの充実を強力にサポートする、それがYESSの第1の活動です。

充実したYESSの特典や活動メニュー はいまやうちの「看板」に!

●YESSやヤマハが主催するさまざまなイベントへの参加料金割引●ヤマハマリーナ浜名湖、合歡の郷、スポーツランドSUGOからペンション、ホテル、フェリーなどYESS提携施設の利用料金割引●YESS特選宿泊施設利用割引●ツーリング中のバイク回収システム●バイク119番●バイク運搬システム●WAYやYESSぶれずなどのスペシャル情報の提供……

——などなど、最高100万円を限度に支払われる交通傷害事故保険が付いた。YESSスタッフカードを手にしたときから生まれる、豊富なYESSの特典群。これはそのまま、お客さまのバイクライフの充実に直結するものですし、またお店を通じてのこうした特典の提供は、お店のお客さまサービスの内容と質を一気に向上させるものとなることはいままでもありません。

東京・杉並でYPSとなつて4年目のご商売を展開する「YSP杉並」(児玉伊佐雄専務)さんも、こうしたYESS特典の積極的な活用によって充実したお客さまサービスを展開。お客さまから、イベントの豊富なお店を遊ばせてくれるお店の定評を集めているYESSショップ。児玉専務は、最近のお客

さま傾向をまじえながらYESS活用の現状を次のように話してくださいました。

「いまは、お客さまの幅がすごく広がっていますね。当然、バイク購入後に店に求める楽しみや遊びも、その分幅広くなつてきているわけで、これらの要求にしっかりと対応するためにうちではYESSを活用しているわけです。『お客さまの遊び心へ答えが出せる』ということ、『スクーターレースをはじめ、『サーキットラン』や『エンデューロレース』



「今年はオフロードYRSで新しいニーズに
応えていきたい」と意欲を燃やす「YSP
杉並」児玉専務



『サマーフェスティバル』『バイクヒレッジ』などのイベントにどんどん参加していますし、SUGOの利用割引などのYESS特典を、お客さまに大いに利用していただくように、おすすめしています。スタート時は自分もお客さんもYESSと

いう言葉を聞いても正直ピンとこなかったものでしたが、ひと通りのメニューをスタッフと一緒に体験するうちに、これらの活動の重要性が本当によく理解できるようになりましたね。

また、スタッフの方も内容の良さ、遊ぶことの楽しさなども十分に認識はじめて、自然にクチコミで広がり、YESS活動がそのままうちの看板みたいになって、会員数も順調に伸びています」

お客さまのバイク離れもガッチリ防止

こうしたYESSの内容がお客さまの間に確実に浸透しはじめてからというものの、その効果もご商売のうえに目に見えて表わははじめています。

「今まで続けていたうち独自の企画に、YESSのメニューが加わって店全体のキャパシティが広がった。

これで、お客さんの個性に合せた遊びの提供ができるわけで、それは確実にそのお客さまを固定客化できる、ということでもあるわけです。たとえば、身近な友人とのグループだけでバイクライフを楽しんでいれば、多様化するレジャーの中で、グループの志向が他に移ってしまうと、もうみんな二輪には乗らなくなってしまう。しかし、その時にYESSという別のサークルに席を置いておけば、それを食い止めることもできるからです。

それと、袋井ヤマハコースなど一般では利用できない施設を使ったイベントや、SUGO、ヤマハマリーナ浜名湖、合歡の郷などヤマハレクリエーション施設の割引き、さらに全国どこを走っていても何かあった時にバイクを自宅まで運んでくれる「バイク119番」など……すべての特典の後にヤマハがいる、この安心感、信頼感というのはお客さんにとってのものすごく大きいと思いますよ」

バイク運搬システムで実現する 私の新婚ツーリング

それでは次に、こんなY.E.S.S.の特典のひとつ「バイク運搬システム」を、なんと新婚旅行に利用したY.E.S.S.カプルの感想をご紹介します。お話しいただいたのは山形県酒田市の田村良子さん（26才）です。

「実は、結婚したら新婚旅行はバイクで、というのが以前の夢だったんですが、この春無事に、私にバイクを教えてくれた彼とゴールインして、さっそくその計画を実行することになったんです。ところが私が今住んでいるのは山形で、彼氏は転勤して千葉県にいます。そして新婚旅行は、2人の新居と

なる千葉から川崎までバイクで走り、フェリーに乗って九州に渡り、九州を時間がゆるす限り走り廻るという予定なんです。

限られた時間を有効に使うために、山形から千葉まではY.E.S.S.の「バイク運搬システム」でバイクを運んでもらうことにしました。全国どこへでも、電話一本でバイクを運んでくれるというこのシステムはとても便利で、本当に自身は何もしないで、バイクは千葉へと無事到着してくれました。

多分この誌面が出る頃には、2人で九州のツーリングを楽しんでいると思います。」

というわけで、田村さんの愛車は新妻よりもひと足早く「Y.E.S.S.バイク運搬システム」に乗って千葉県松戸市の新居に到着してしました。

この場合は、Y.E.S.S.発足と同時にスタッフとなった田村さんが、送られてきたパンフレットをもとにY.E.S.S.スタッフの特典を十分に理解され「バイク運搬システムを利用すれば新婚ツーリングも簡単」と計画されたわけです。

ツーリング途中のトラブル発生時に、電話一本でバイクを引き上げ指定場所まで運搬する「バイク119番」と同じネットワークを利用したこの「バイク運搬システム」は、田村さんのような利用の他にも、遠距離へのスクーターツーリング（スクーターをこのシス

テムで輸送し、目的地まではクルマや鉄道で出かけて目的地でスクーターに乗って遊ぶなど、新しいタイプの遊びにも大いに活用いただけるものです。

しかし「バイク119番」バイク運搬システム」とも、ここに来て急速に申込み件数が増えているにもかかわらず、お客さまの理解不足から実際に利用までに至らないケースも少なくはありません。こうした点も含めて、Y.E.S.S.特典の効果的な利用法のご紹介も、Y.E.S.S.ショップのみなさんには改めておねがいしたいところです。



「YSP杉並」さんでは、「バイクビレッジ」を活用しお客さまとの交流を深めている



袋井テストコースを使っのサーキットランは、Y.E.S.S.だけの特典

ハーバーサイドのライダーズ・ピット Y.E.S.S.提携施設 ヤマハマリーナ浜名湖

日本列島のメインルート・ルート1、東名高速道路のほぼ中間、みどころ豊富な遠州路、三河路のツーリング・スポット、ヤマハマリーナ浜名湖も、Y.E.S.S.提携施設のひとつです。ここでは、ヤマハクッキングスタッフによる食事と、豪華なマリーナビラでの宿泊をバックした「ヤマハマリーナ浜名湖・ツーリングパック」を用意。また

ヨットやボートのマリーンスポーツにテニスもおたのしみいただけるオプションもプラス、クラブのミーティング等にもご利用いただける各種ミーティングルームも完備して、Y.E.S.S.ショップ&スタッフのみなさまのご利用をお待ちしています。

▶お問合わせ、お申込みは、☎05357(8)0711(代)までどうぞ



バイクビレッジ、ジェット・ツーリング オリジナル企画で活性化するツーリング活動

すべてのお客さまにとって最も身近かなスポーツレジャー・ツーリング、これをまったく新しい発想のもとに展開、お客さまに新しいバイクの世界を提供していまやYESSの顔ともなっているのがバイクビレッジとジェット・ツーリングです。

ショップさんの活用範囲もさらに拡大

定められた目的地に参加者が途中思い思いのツーリングを楽しみながら集合し、目的地でライダー同志の交流を深めあう「バイクビレッジ」。一方、愛車とともにジャンボ・ジェット

ットに乗って北海道へ、沖縄へとひとつ飛び、そして現地でのマイ・バイク・ツーリングを楽しむ「ジェット・ツーリング」。YESSのオリジナル企画によるこのふたつの活動は、



'86年第1回のバイクビレッジ、4月12-13日の箱根小湧園の人数も上々。参加するお客さまとのツーリング計画に余念のない奥津社長（左から2人目）とスタッフの三瓶さん（左）



ツーリングにまったく新しい楽しさをプラスし、またたく間にYESSのメイン活動として定着しています。

そして、このふたつに共通しているのはニューモデル試乗会を折り込んだバイクビレッジ、販促プレミアムとしてのジェット・ツーリング招待など、YESSショップさんのこ

バイクビレッジを通じて

新規店のお客さま同志の交流を促進

それでは、このふたつの活動を積極的にご商売に活かしている神奈川県2店の販売店さんの声を、ご紹介しましょう。昨年1月に神奈川県川崎市にオープンしたばかりの「YSP南川崎」（奥津一男社長）さんは、わずかに開店1年3カ月で、62名のYESSスタッフを集めたお店「中には購入目的でなく、YESS会員になりたいんですが」と来店するお客さんもいます」というほどですが、この「YSP南川崎」さんのスピーディな市場定着の原動力となってきたのが、他ならぬ「YESSバイクビレッジ」なのです。

「お客さまのニーズが多様化している中で大勢のツーリングクラブをつくって画一的な活動をしても、とてもみんなに満足は与えられない。それに、うちのような新規店ではそんなエネルギーもない。ところが、それを一気に解決してくれたのがこのバイクビレッジなんです。しかも、ヤマハのYESSイベン

トということでお客さまの安心感も倍加。集客の苦勞なんてほとんどないほどです」と話す奥津社長、具体的にどんなことかというところ――

「スポーツユーザーとはいえ、本当にツーリングを楽しんでいるのはお客さん全体の3割ぐらい。それもうちのお客さま同志で行くんじゃない。それと、会社の仲間などで出かけているんですね。店の歴史が浅いうえに、お客さんの来店曜日や時間帯がいろいろなのでうちのお客さま同志の仲間意識などとても育てにくかったです。毎月1回のツーリングでも、どうしても好み偏ってしまってます。

そこで、昨年からバイクビレッジに参加しはじめたんですけど、これだとお客さまがグループで好きなように参加できる。早朝から出発する走り好きのグループ、昼ごろノンビリと出かけていく人たち、さらに仕事が終わった夕方から出かけるサラリーマンや所持持ち



ジェット・ツーリング・イン・沖縄を楽しんだ女性ライダーのみなさん

商売にダイレクトに結びついたかたちで活用されていることです。

YESS初年度の昨年はヤマハ販売会社が中心となって開催してきたこの2大イベントも、2年目の今年にはヤマハ営業所主催、さらにはYESSショップさんの独自開催（利用）へと、その活用範囲を広げるところです。

の人などですね。いままで店でもスレちがってばかりいたこの人たちが、目的地に集合してみんなでパーベキューを囲みながらバイクの話をしたり、ツーリングの話をしたり……本当に短い間でお客さん同志の連体感をつくりあげることができています」

こうしていまでは、バイクビレッジ開催が決まると「YSP南川崎」さんの店内には、参加メンバーの氏名、年令、バイク、自己P

行動範囲の限られた女性ライダーにも 夢と可能性を広げてくれた ジェット・ツーリング

一方、神奈川県相模原市の「アクロス(加藤裕子社長)さんは、3月29日・31日のYESSジェットツーリング・イン・沖繩」に女性ライダークラブ「フェミナ」の9名のメン

Rが揭示され、これがまたお客さま同志の共通の話題となって参加者を増やしています。「昨年は房総・館山と長野県松原湖の2回、今年も4月12・13日の箱根小湧園から参加します。でも今年はずいぶん、これまでの参加で学んだノウハウを使って、YESS提携施設を利用した店独自のバイクビレッジをやってみたいですね」

と奥津社長は、意欲を燃やしています。

バーが参加したお店。現在YESS会員102名、うち80名は「フェミナ」の女性会員というユニークなお店でもあります。「毎月発行しているフェミナの会報で、ジェ



来店したお客さまと2月のジェット・ツーリング・イン・沖繩のお土産話を花をさかせる加藤社長(左)



店内には「遊び」の情報がいっぱい

ットツーリング・イン・沖繩の告知をしただけで8名も参加者がありました。もちろん、行って来たお客さんは大満足。YESS会員になって良かったって実感していますよ。よく女性ライダーは、身のまわりせいぜい10キロが行動範囲、なんて言われてその中で、これは情報やチャンスが少ないからなんです。もちろん、今度の沖繩ツーリングの模様は会報にも載せ、店内にも写真ボードを掲示して紹介しますが、この話題だけでも、たくさん女性ライダーにこれまでは全くなかった夢を与え、ツーリングの可能性を広げるこ



加藤社長と8名のお客さんと参加した「ジェット・ツーリング・イン・沖繩」バイナップル狩りをしたり、みなさん楽しい思い出を残された



とになると思いますよ」と加藤社長。「うちのモットーは「一緒に楽しもう」ということ。ライダーって夢だけは大きくて、たくさん持っていても自分だけの行動力や範囲は意外に狭い。それはクラブという単位になってもそうは変わらないんですよ。そんなカラミたいなものを突き破ってバイクの世界を広げてくれる、それがYESSです、その代表がジェット・ツーリングだと思っんです」

このように、女性中心のクラブ「フェミナ」のツーリングやファミリーバイクエンデューロなど、活発なお店独自の活動をつづける「アクロス」さんでも、YESSの活用によって、お客さまの行動範囲は飛躍的に拡大しているところですよ。

マイ・バイクで走る、さわやかな初夏の北海道

Y.E.S.S.ジェット ツーリング・イン・北海道

6月13日(金)~16日(月)開催!

※詳しくは本誌32ページをご覧ください。

ツーリングから スクーターレースの新しい芽

この「YSP広島東」さんで、いまツーリング派のスタッフがそろって夢中になっているのが、YES Sスクーターレース。年間4回のシリーズ戦として広島市内で開かれるこのレースには常時70台近くのエントリーがあります。うち15台近くは「YSP広島東」さんのお客さまというほど。このように、YR

SやYES Sレースは単純にお客さまに「遊び」を提供するばかりでなく、お客さまの意識を新しい遊びの方向に向けさせる大切な働きももっているのです。「スクーターレースは、最初はスポーツバイクのお客さまに運転技術をもっと身につけてもらうことを目標にしてやっています」。



ツーリング派のお客さまも夢中、のスクーターレース(というよりスクータークロス)。
ツーリングクラブ、させつふう。は、現在メンバー50名

だから、身体ひとつで参加してもらえらうに、マシンから昼食まですべて店でセッティングしてあげたんです。参加費は1人2000円、マシン貸与に1000円、昼食代に500円から1000円……というように最小限の予算で面白くやってみよう。

でも実際のレースでは、貸与マシンに差が出てくる。すると次回のレースの時には少しでも早く店に来て、「いいマシン」を見つけて整備するようになるんです。こうしてマシン整

YES S活動の幅を広げる MFJスポーツ協力店への参加

このように、サマーフェスティバルを頂点として多彩にくりひろげられているYES Sのレース活動は、お客さまを確実にモータースポーツの世界に導く端緒となっています。こうしたYES Sレースの活動にさらに広がりを与えるのが、この3月からスタートした「MFJスポーツ協力店」としてのお店の活動です。

県協会、MFJスポーツ協力店等の新組織Bライセンス講習会やMFJ承認イベント等の新活動など一新したMFJの内容は本誌4月号に詳しくご紹介しておりますが、Y E



備の面白さを含めたレースの楽しさを、除々にお客さんがわかるようになるんです。特別にモータースポーツの上級クラスへのひとつのステップ、と考えるなくても実際にはスクーターレースの中から自然にモータースポーツへの芽が育っていくんですね。

今年もまた西日本サーキットでのプロダクションレースに、TZRが3台、RZが1台うちのクラブからエントリーするんです。

SSショップの「MFJスポーツ協力店」への参加によるお店の活動や機能の拡大は、そのまま、お客さまの県協会イベントなどイベント参加機会の拡大、提供サービスの拡大に結びつきます。YES S活動によるお客さまへのモータースポーツの提供には、ぜひこの「MFJスポーツ協力店」制度もあわせてご利用いただきたいものです。

'86 Y.E.S.S. サマーフェスティバル

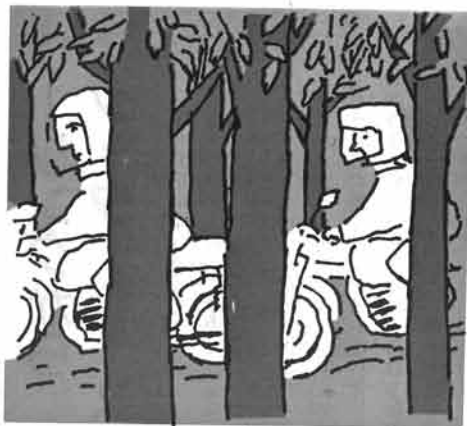
- ▶北海道ブロック：8月2～3日、ルスツ高原特設会場
- ▶東北ブロック：7月27日、田沢湖
8月24日、裏磐梯
- ▶関東ブロック：8月3日、富士スピードウェイ(中部合同)
- ▶中部ブロック：8月3日、富士スピードウェイ(関東合同)
7月27日、ヤマハスポーツランド第一
- ▶関西ブロック：8月2～3日
- ▶中国ブロック：8月3日、大山鏡ヶ成国民休暇村
- ▶四国ブロック：8月2～3日
- ▶九州ブロック：8月2～3日、熊本スコーレ菊池高原

お便り
待っています！

普段のお仕事や生活の中の、ちよっとした話題をお知らせください。ご商売に関するご質問、お客さまにまつわる話題、ヤマハやヤマハニュースに対するご意見、ご希望など、どんなことでもけっこうです。写真やイラストも大歓迎です。

若いお客さまたちと一緒に
モータースポーツの輪を広げていきたい
橋本健司さん・30歳(ばらあふ)山梨県都留市)

商売をはじめて1年ちょっと、オートバイが好きで始めました。高校時代にトライアルと出会い、その後プラスバンドもやっていた関係で自衛隊の音楽隊に入ろうと思っていたんですが、自衛隊にオートバイ部隊があることを知って急遽そちらに入りました。自衛隊にいた頃は、中のトライアル大会でBP(ベスト・パフォーマンス)優勝)を取ったこともあり、楽しい思い出も多くあります。そして、除隊して商売を始め、今はオフロードスポーツを中心に活動しています。



あんなお店、こんなお店

とてもやさやかで、ありふれた毎日だけど...

元都留文化大学の学生たち。チームよろずやというクラブを作り、モトクロスや林道ツーリングなどをしています。さわやかなことに周辺には林道も多く、練習場所に恵まれているので、これらの活動を通して商売の輪が広がればいいななんて思っています。今はまだ開店して日が浅いので、商売の方は順調とまではいきませんが、若い人たちと一緒に色んなイベントを開催し、モータースポーツを普及させていければと思っています。



平選手のファンです。
レースの情報もっと載せてくださいな。
上野賢一さん・18歳(上野輪業)福岡県直方市)

ヤマハニュース、毎号楽しく読んでいます。私はロードレースに興味があつて、たまには田舎なかも見に行きます。でもウチの方は情報も専門誌に載っているものぐらしか入手できません。私は平選手のファンなので、ヤマハニュースでもっとレースの結果とか専門誌では得られないような情報を載せてくれることを期待しています。また今乗っているFZ250フィーザーも、

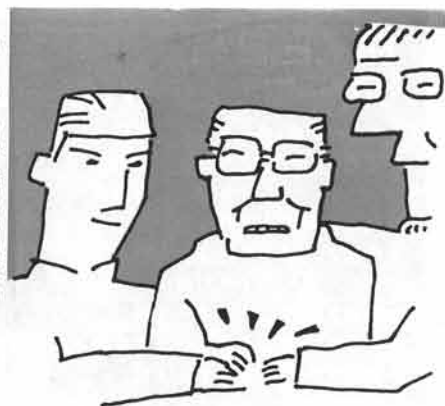
昨年の8月に購入して以来、まわりにオートバイに乗る仲間があまりいないこともあって、まだ一度も遠乗りしたことがありません。これからは、仲間を増やしてロングツーリングなんかにもチャレンジしたいと思っています。今はまだ店のことは何もやっていませんが、今度、整備専門学校へ入ることになっているので、卒業したら家業を継ぐつもりです。スクーター中心の商売ですが、将来はスポーツバイクもどんと扱えるような店にしたいと思っています。ガンバリますので応援してくださいね。

長い目で見た商売で
地道に土壌を広げていきたい
高木秀浩さん・25歳(高木輪業商会)福島県いわき市)

店は祖父の代から始めたので、私で3代目になります。地域柄、バイク専門とはいかず自転車とバイクの併売です。スクーターが主力で、主婦や高校生がお客さんの中心。でも高校生については、バイクをほしがっている人は結構いるんですが、なかなか免許を取らせてもらえなくて、ちょっと厳しいのが現状です。

この道に入ってから丸4年たちます。修理や整備については、ヤマハはマニュアルがしっかりしているのが苦労はないのですが、販促面は大変です。やりたいことはたくさんあるのですが、なかなか実行までこぎつけられなくて、スクーターレースなんかにも興味があるんですが、こういったイベントというのは実行したからといってすぐに目に見える効果というのは出てこないですからね。長い目で見た商売を展開して、土壌を広げていきたいと思っています。

それから、オートバイ全体をしつかりと理解しておきたいので、オートバイの歴史みたいなものを詳しく知りたいと思っています。「YAAー」の頃からのオートバイの話も、ヤマハニュースで特集してください。



トライアルで店の個性化
健全な商売を目指します
大関憲さん・34歳(南モトセンター)新潟市)

店がある場所は西新潟と呼ばれる地域で、二輪車販売店が立ち並び、いわゆる商売の激戦地区なんです。こんな中で商売を展開し、伸びていくためには、やはり店の個性化が最大のポイントと考え、トライアルに力を入れています。

昨年は、アイベックス・トライアルクラブというクラブを結成し、店から20分ほど車で走った場所にトライアルパークも作りました。また、イベントとして全日本トライアルの国際A級選手に講師をお願いして、トライアル教室なども開催しています。お陰さまで会員も順調に増え、コンペティションマシンの売上げも伸び、とかく価格競争に走りがちな市場環境の中で、楽とはいえませんが健全な商売をつづけています。

今はまだMFJに登録したての全員ノービスクラブですが、将来は全日本で活躍するような名選手がでてくれることを期待し、また、店の個性化で、客層をハッキリと分けた、他店と競合しない確実な商売を展開していきたいと思っています。

お便りの宛先は

〒438 静岡県磐田市新貝2500
ヤマハ発動機株 広報室・宣伝課
「ヤマハニュース」編集部まで

デザインにみるヤマハらしさ

デザインは、テクノロジー。マン・マシンの一体化の追求、それがヤマハ・デザインの進化



■ヤマハデザインの出发点

ヤマハのデザインには、いつも気品に満ちた伝統の香りがある。モーターサイクルを知り尽し、かつ愛してやまぬ開発スタッフの熱い思い入れがそこにあるからだ。

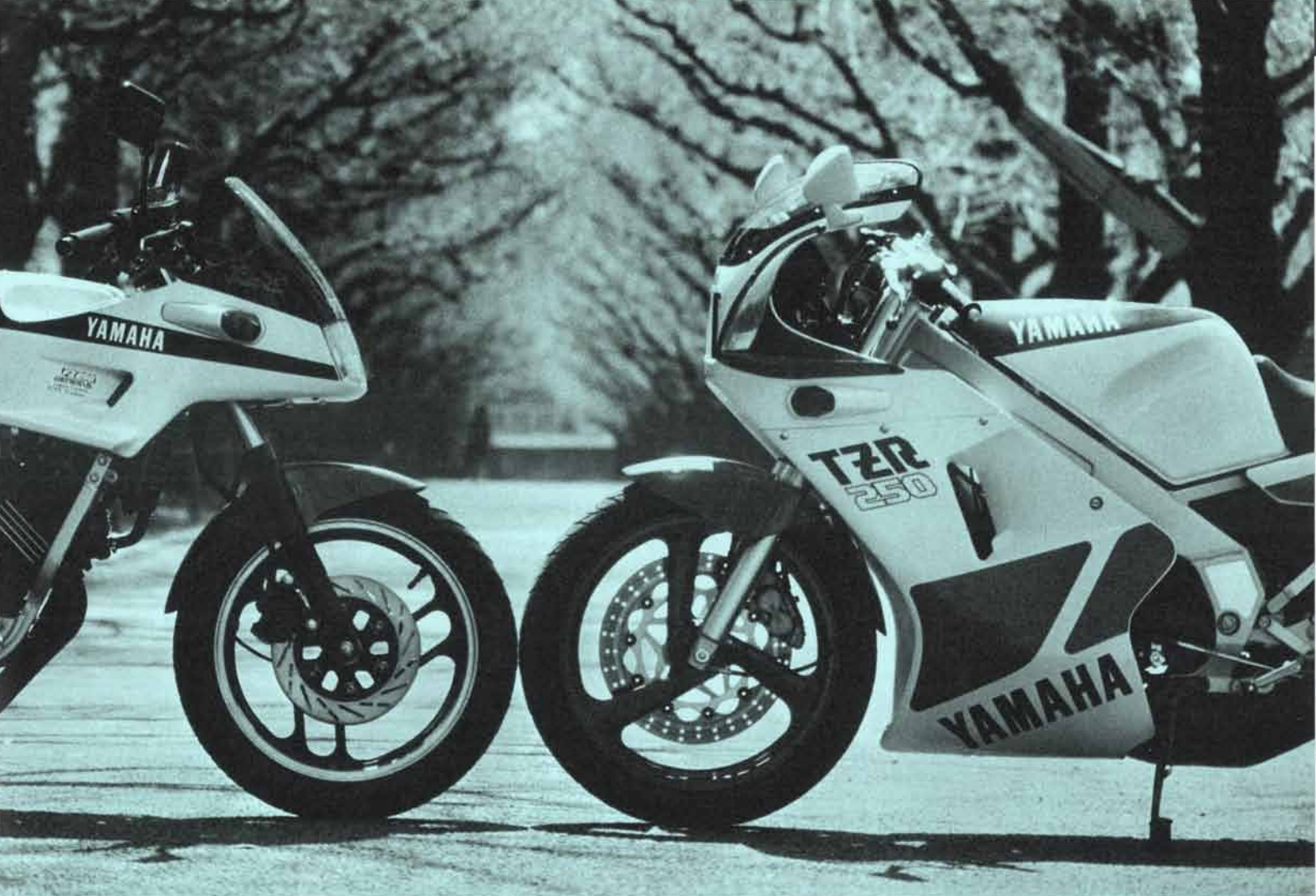
モーターサイクルのデザインというと、なんとも抽象的で個人的な好き嫌いで片付けられそうなテーマではある。しかし、あくまでも趣味の世界であるモーターサイクルにおいて、モーターサイクルのスタイリングや作り込みは、ユーザーがそのモーターサイクルを購入しようとする時の、大きな判断要素であることは間違いないところである。

ところで「モノを創造する」という作業は相当の苦勞を強いられるものである。モーターサイクルのデザインを決定する上でも、エンジン、フレーム、ホイール、燃料タンクなど、それぞれに独自の機能を追求しながら、モーターサイクルというひとつの生命体としての調和、つまりバランスが求められることになる。

優れたデザインとは、卓越したトータルバランスに支えられているわけであり、そこにはバランスを生み出す技術力が不可欠、ということになる。つまり、優れたデザインは優れた技術力によってのみ成立するということである。

ところがヤマハの場合、単純にデザイン＝技術力、という図式はあてはまらない。これにプラス、気品というかけがえのない要素が伝統として生き続けていることである。流行にとらわれることなく、独自のデザイン思想の中で美しいデザインと個性を両立させてきたヤマハならではの妙というものが、誰の胸の中にもしっかりと根をおろしているのである。

その出发点は、今から時をさかのぼること31年前のヤマハの第1号車「Y A 1」にある。誰の目にも優しく受け入れられるティアドロップ型の燃料タンクをはじめとして、各部の造形や仕上げは、その後のヤマハ車のあり方



を大きく決定づけたといつてよいだろう。

物事は最初が肝心だ。当時の125cc車の相場よりも約1万円（この1万円は、当時としては大変な額であった）も高かったのは、各部の材質も厳選し、かつ仕上げでは入念なメッキ処理と塗装を施したからである。安からう悪からう、ではヤマハのプライドが許さなかつたのである。

深みを帯び、しかもいつまでも色褪せることのないマールンカラーのYA1は、デビューと同時に富士登山レース、浅間火山レースで華々しい戦績を残し、ヤマハ「美しい速い」というイメージを早々と確立した。これがヤマハの伝統の出発点であった。

■2サイクル2500ccの進化 ヤマハデザイン部の進化

昨秋登場のTZR250は、デビュー以来クォーター市場で群を抜く販売実績を記録しているが、もちろんこれは単なる偶然ではない。59年のYDS1以来、常に2サイクル250cc市場でリーダーシップを取ってきたヤマハのエンジン技術と、卓越したスタイリングコンセプトの蓄積があつたからだ。

YDS1は、57年の浅間火山レースのライト級で圧勝したYD-A、YD-Bの発展型である。フレームは高剛性のダブルクレードル型とし、キャブレター、エアクリナー、バッテリー、電装品などは完全に露出した機能最優先のデザインであった。それでいて各部のメッキや塗装処理はYA1と同様、最上級のフィニッシュを見せていた。

このYDS1は、YDS2、3、DS5E、DS6へとより一般ユーザー向けの性格づけがなされて行くが、DS6にいたっては古典的なティアドロップ型タンクにすることによつて、市場に大きなインパクトを与えた。

しかし、ヤマハのデザイン・スピリットは、生半可な熱さではなかつた。350ccロードレーサーTR2のフレーム設計とエンジン機構をベースにしたRX350が、70年に登場。その約半年後にはその250cc版DX250

を登場させ、YDS1以来のホットな性格づけが再現される。

ここでのスタイリングコンセプトは、限りなく高速度性と軽快性を高めることを狙つたものであった。2サイクルスポーツ車の激戦地アメリカ市場に焦点をあわせたモーターサイクルらしいモーターサイクル、を意図したからである。シェイプアップされたティアドロップタンク、スリムでツヤ消しブラック仕上げのクランクケースなどのフィニッシュは、アメリカのエンスーージャストたちの心を奪つた。もちろんデイトナのジャイアントキラーであつた水冷TZ350のスタイリングとオーバードラップしていることも人気の秘密であつた。

73年から350と250はともにRDの名に統一され、350はやがて400ccへと排気量アップがなされつつ、燃料タンクをはじめとする細部の処理がより角ばつたものとなつた。そして79年、名車RZ250の前身ともいえるモデル、RD250、RD400が発表された。アメリカではその名も「デイトナ」として、再び熱きエンスーージャストの声に応えようとしたモデルである。全体に丸味を帯びたタンクとサイドカバーが流れるようになつたり、シートとシートカウルも直線的なものから曲線基調にまとめられた。ホイールもキャスト式となり、全体がより動きのあるスタイリングへ向い始めたといえよう。

そして80年、デイトナタイプのRDをさらに進化させ、より躍動感に満ちたスタイリングでRZ250が登場する。燃料タンクとサイドカバーはより一体感を増し、テールカウルはより造形的に凝つたものとなり、デイトナに至るまでダイナミックさを強調。ホイールはRDデイトナタイプの静的なものから、あたかも火の玉が回っているようなスパイラル状のものへと変わり、2本構成のスポークも動きのある5ブロックとなつて、軽快かつスピード感が増幅された。

ブラック処理されたエンジンとマフラーは全体をより引きしめ、小粋に持ちあげられたマフラーエンドがより軽快感を増加させてい



る。そして何よりも全体の視覚的な重心位置を、ちょうどヤマハのタンクマークの位置へもってきたことが、ダイナミズムのキーポイントとなつている。真横から見たときの視覚的の重心位置は、ちょうど陸上競技のクラウチングスタイルと同じように、今にも前へ飛び出そうというイメージとなつている。

真上から見たそのスタイルも前方へどつしりと体重をかけたような重厚さがこのRZにはある。乾燃重量139kgという当時としては超軽量なRZが、見て、乗って、触つたときにはいかに「重厚」であつたか、を思い出していただきたい。

RZのデザイン的な流れは、実は81年からマルチ4気筒、XJ400や750、はたまたXV750Eにも応用され、70年代までのいわゆるティアドロップ型をベースとしたスポーツ車から、第2世代のスポーツ車へとステップを進めたといえるだろう。一方、ホースバックライディングのスペシヤルシリーズのXS650、XJ650などはさらに流麗なるティアドロップ型タンクを用いて洗練化した。

このように80年を契機に主要スポーツモデルのデザインをことごとく統一思想のもとに革新していったのも、いかにもヤマハらしいところである。

■デザイン革新の秘密

では、80年前後のヤマハのデザイン革新のポイントは何か。それは、ヒューマンロードスポーツにおいても、ゆったりとしたスペシヤルモデルにおいても、快適さをベースとした「軽量、スリム、コンパクト」という不変のテーマを追い求め続けてきたことだ。しかも80年代のこのテーマは、ライダーが乗車した時の

状況をよりシビアに分析し、モーターサイクル全体のデザインを決定する基本要素としてこれを再確認させるものとなつている。

びたりと吸い付くようなライディングポジションのRZ250。それは、あのタンクとニーグリップ部の造形処理によつてはじめて可能になつたものである。またXJ750やXJ400に採用した背面ジェネレーター、そしてシリントヘッド両サイドとクラシックスのナローウ化の追求……。時をさかのほれば、あえてTX750が2気筒、GX750が3気筒であつたのも、軽量・スリムのためであつた。

ヤマハデザインの進化は、あくまでもより「マン・マシン一体感」を求めた結果から生まれたものであり、デザインのためのデザインでは一切ないところに本質がある。ヤマハ

のデザインは一步でもより人間に近いモーターサイクルを創造する上での創造活動そのものである。RZ250ばかりではなく、XJシリーズやXV750Eがマニアの間で高い評価を受けたのも、そんな興行きの深いデザイン理念に彼らが共鳴したからに他ならない。

■そして新時代のヤマハデザイン

その後RZは、ステアリングヘッドからスイングアームピボット部を一直線で結ぶワイドパイプ式ダブルクレードルフレームのRZ250Rへと発展。フレームの多くが露出する新デザインが採用され、タンク形状も大きく変化を遂げる。

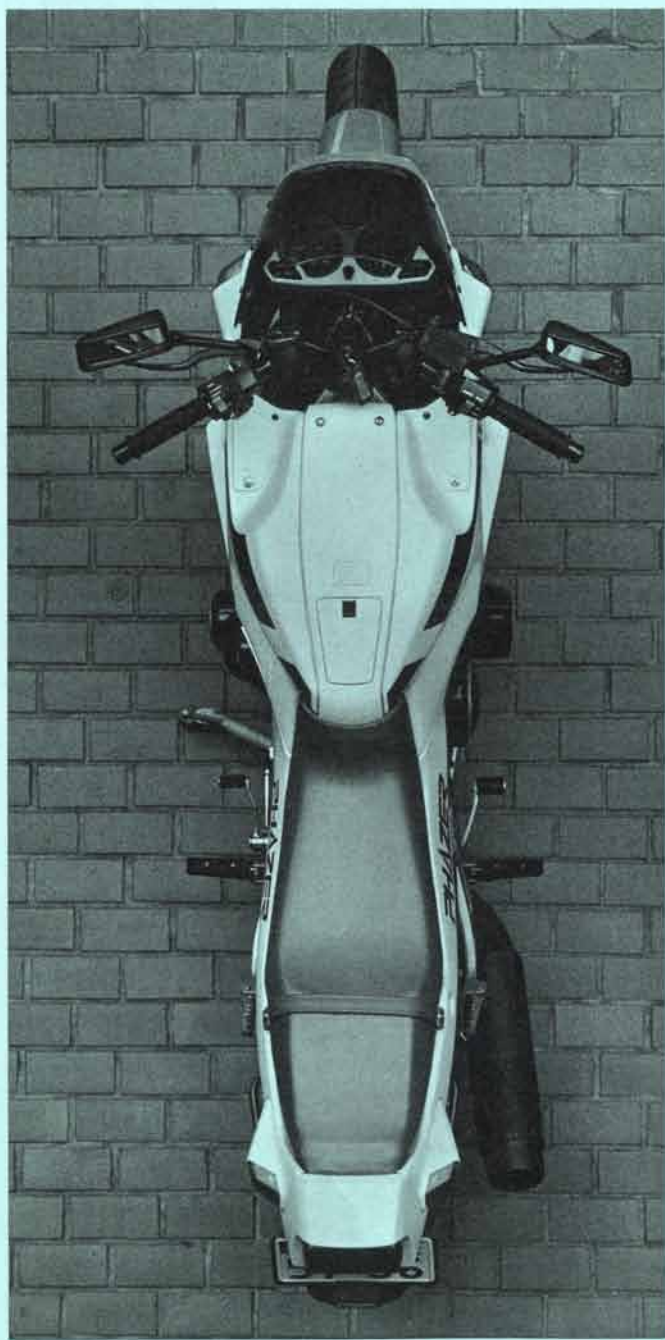
そして85年のTZR250へ。ステアリングヘッドからスイングアームピボットシャフトまでをデルタ状のアルミ製極太パイプでつないだフレーム構成は、単にワークスマシンのYZR500に似たスタイルを追求するためのものでなく、より快適な走りを味わうためのヤマハからの回答である。車体はより軽

く、よりコンパクトに、そしてより低く。それだけで量感にあふれたスタイルは、さらに250ccとは思えぬ力感をももたしている。2サイクル250ccの中でスバ抜けた運動性能を可能とさせる要因は、当然エンジンだけではない。理にかなった美しいボディスタイルがそこにあるからである。

4サイクル分野でもFZ250と750は前傾45度エンジンで新しいデザイン性を打ち出し、走りも従来にない新規性に富む優れたハンドリングを持つている。そしてFZR400も今、このシリーズに加わろうとして

いる。TZR250もFZシリーズもより低く、スリムで軽量でコンパクトであることが信条である。YAIが登場して以来、実に31年もの間、テーマは一貫して、より「人間に近いモーターサイクル」にあつた。

しかも、この美しいモーターサイクル達は実はいま、最も進んだハンドリングの持ち主であることを同時に確認しておこう。真に美しいものだけが真に安全で速い、という論理を結びの言葉としたい。(山本一成)



⑤
フォロー・ザ・トレンド
仕掛人が語る、若者たちはいま



(プロフィール) 1971年に株資生堂に入社。社内でも花形セクションとして知られる宣伝部に所属して数多くの有名化粧品品の宣伝コピー等を制作する。1985年2月、社内体制の変更により現在のセールス商品事業部商品企画宣伝部企画課に配属、いまひとつ、人気の波に乗れないでいたヤング男性化粧品「TECH21」の販売促進業務に従事する。そして、2ヵ月後の、1985年4月より*85鈴鹿8時間耐久オートバイレース*に出場するケニー・ロバーツと平忠彦のヤマハチームへのスポンサーードに向けた活動を展開、見事、「TECH21」の一大ブームを創り出す。1947年5月9日生まれ。

株資生堂セールス商品事業部
商品企画部宣伝企画課 **竹永睦男氏**

商品にカツコよさが付加されたとき
ヤングの購入意欲は一気に爆発する

すね。

もつとも、この時は私はまだ別のセクショで仕事をしていたものですから、聞いた話なんですけど。

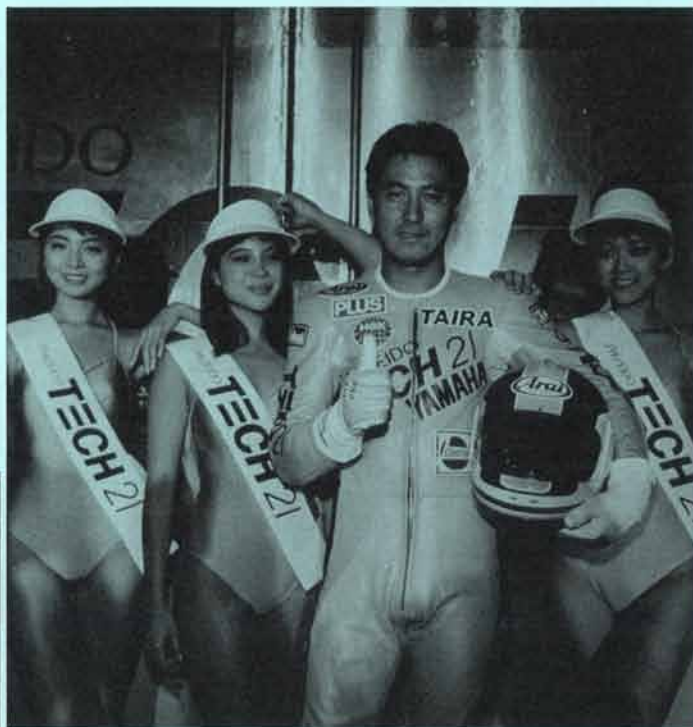
で、当然、「TECH21」の商品自体の人気もあまり高まらず、売り上げも伸びなかった。そんなわけで別のキャラクターを設定しようということ、平忠彦が2番手として登場したというわけだ。

平忠彦が選ばれたという理由は何ですか。「理由はいたって簡単です。実は、次期キャラクターを物色していた担当者がオモチヤ屋さんへ行きまして、ジグソーパズルで今一番人気のあるものは何かと聞いたところ、返ってきた答えが平忠彦だったんですね。その担当者は平忠彦がどんな顔をしたどんな人物かを知らなかったんですけど、迷わず平忠彦を推薦したというわけです」

ジグソーパズルで人気ナンバーワンといえ、よくもまあ大胆な推薦をしたものですねえ。

「もちろん、平忠彦を推薦するにあたっては、ジグソーパズルの他にもいろいろ調べたようですが、調べれば調べるほどに平忠彦の人氣が裏付けされてきたわけですね」

それはいつの頃のお話ですか。「84年の夏頃だったと思います。実際にコマシヤルのキャラクターとして登場してくるのが84年の12月からで、全日本チャンピオン2連覇を決めた直後。まあ、キャラクターとして採用するにあたっては、いろいろと抵抗もあつたようですが、最終的には「若い人たちがそんなに推すのなら清水の舞台から飛び降りたつもりでやってみよう」とのトップのひとで平忠彦に決定したんです」



↑一般誌も含めたジャーナリストを対象に都内で行なわれたヤマハTECH21チームの発表会では、パープルカラーのマシンとレーシングウェアの統一イメージが披露された

←ご存知/ 8時間耐久でのFZR750とケニーのライディング。7時間30分で無念のリタイヤを喫したとはいえ、その活躍は後世まで語り継がれるに違いない

ジグソーパズルの人気ナンバーワン

「いまでこそ「TECH21」といえば平忠彦といえますが、当初は違う男性モデルがキャラクターをとめていたとか」

「そうなんです。平忠彦の前のキャラクターは、もっとナイーブそうな男性モデルでして、「TECH21」のメインターゲットであるヤング男性の間ではあまりパツとしなかったんで

何らかの新しい試みがしたかった

いろいろな抵抗とは、具体的にどんなことが話題にのぼったのでしょうか。

「今となつてはお恥かしい話なんですけど、平忠彦がオートバイに乗っている人だからです。すでにオートバイ・イコール・暴走族というイメージは薄れてきていましたが、それでもオートバイのイメージは資生堂のセンスとあまりにかけ離れていたわけですね。とくに上層部からはかなり反対意見もあつたように聞いています」

ですから、実際に平忠彦をキャラクターとして使う場面では、オートバイに乗っている





平忠彦を起用したとはいえ、最初のテレビCFではヘルメットすら持たせられなかった（写真は第2弾目のテレビCFより）

姿を絶対に撮らないという条件が付けられていたんです。最初の1本は、それこそヘルメットもなく、普通の男性モデルと同じスタイルで……」

それがまた、どうして「8時間耐久」へと飛躍しちゃったのですか。

「3本目のテレビCFの撮影の頃から、8時間耐久」の話がヤマハさんのほうから出てきたんです。『平忠彦とケニー・ロバーツがチームを組んでエンタリーするから、スポンサードしませんか』といった提案が、ですね。

私はちょうどこの時から今の部署に配属されたので、最初は何かわからなかったのですが、とにかく「TECH H21」については何か新しい試みをしないことには息を吹き返さないだろうと思っていましたので、少なからず興味を持ったんです。

「TECH H21」についてちよつと説明させてもらいますと、この商品はセールス商品事業部では初の男性化粧用品として登場したもので、ブラバスやタクティクスやアウスレーゼなどと同じ男性化粧用品とはいえ、流通経路も違えば宣伝や販促なども、全然違う方法で展開したかったんです。そんなこともありまして、8時間耐久」の世界を知るにつれ何か賭けてみたいという気持ちに傾いていったん

です」

まさにリオのカーニバルのよう

とはいえ、平選手の走りすら撮影できない状況の中で、そんな話を進めるのはさぞかし大変だったことでしょう。

「最初は私が上司に提案しましたら、すぐにキャンセルされましたね。でも、ある晩、上司が再考してくれまして、自ら部長にプレゼンテーションしてくれました。何度か喰い下って企画会議までこきつけ、結局トップの決断を得られたわけです。CFに平忠彦を使っているならイベント参加も悪くないじゃないか、と。」

私自身、この間モーターサイクルの世界を調べてみますと、なんかとてつもなく底が深いことがわかってきたわけです。ケニー・ロバーツなんかにしても、ただのライダーかと思っていたら、神様でしょう。知れば知るほど今、自分の置かれている立場の重要さをヒシヒシと感じ、やればやるほど手応えが伝わってくる。まさにリオのカーニバルのように興奮が波紋のようにシワジワと広がっていつてます。抜けない状況にまで巻き込まれていったというのが正直な感想です」

確か、ヤマハTECH H21チーム」の発表

は6月だったですよ。

「そうです。鈴鹿サーキットで行ないました。これ以降の反響が、またスゴいんですね。まずプレスへの反応が素早かった。そして、その後の人びとの肉声が……。みんながみんな我われの参加を待ち望んでいたように、想像以上の歓迎を示してくれた。」

今までの私たちは、数字やデータからマーケットの読みとりをしていたわけですが、そんなやり方では全然見えてこなかった人たちが現に目の前にいる。計算ずくでは見えなかった世界がドーンと目の前に出されてしまった。ピラミッドのごとく積み重ねて作りあげた理論が、一挙に土台もろとも崩れ去ったほどのショックを受けましたからね」

1日に20〜30人がTVCFの問合せ

「8時間耐久」の評価については、いろいろな角度から語り尽くされていますが、実際に「TECH H21」の販促という面ではどのような効果をもたらしたとお考えですか。

「結論から言いますと、死にかけていたブランドが甦った好例ですよ。このイベント参加で、計画の2倍を達成することができた。商品のターゲットをしつかり把握することができたということでしょうね。」

従来のイメージでは、この年代のユーザー層にとっていまひとつ物足りないものがあっ



竹永氏曰く、「ここまで大胆にできたのは私がこのセクションに来たばかりで二輪の世界を知らなかつたからでしようか。それと同期入社の人達の影響が大きいと思います」

た。だから買いの行動に結びつけることができなかつた。それが平忠彦と「8時間耐久」で、商品にカッコよさが付加されたわけですよ。だから一気に彼らの購入意欲が爆発したのだと思います」

「その後も、いろいろな販促キャンペーンを試みておられたようですが、そうした反響はどうでしたか。」

「やればやるだけ反応は大きかったですね。まず、デパートやスーパー等でTECH H21仕様のレプリカモデルを置いて、「TECH H21」の商品を展示したり、Tシャツや帽子やカレンダーやポスターをプレゼントしたり、最後は平忠彦が着ていたレーシングスーツをプレゼントしちゃったり、あふれ出るアイデアをそのままひとつひとつ実現して売上げを倍増させていった。まさに、拡販キャンペーンの成功実例を地で追っていった感じですね」

「そうした実績が、いまテレビで流れている。走りのCFの実現にもつながっているわけですね。」

「走りのCFの製作も、レース終了後の資生堂本社前のレースマシン展示も、すべてトップの指示で実現したものです。」

テレビCFについては、今でも視聴者から1日20〜30人は「何時と何時に放映されますか？」といった電話が来ます。また「TECH H21仕様のカラーリングは何という銘柄の塗料を使っているかなんて問合せも、ですね」

最後に、この間のキャンペーン展開の中で、お感じになられたモーターサイクルファン像をお聞かせいただけますか。

「平忠彦もケニー・ロバーツも、とてもジェントルな思想を持っていたところに非常に感銘を受けましたね。そして、彼らを偲うヤングライダーたちにも、彼らのジェントルさを学び身につけようとしていたところは、意外でした。非常にナイーブで、メンタリティーを重んじ、真面目であること。一般のヤングとは異質の、パワーが感じられましたね」

ユーザーのバイブルとして読まれ、市場のオピニオンをリードしている2輪専門誌。販売店さんにとっても生きた情報満載の2輪専門誌の中から直接、間接にご商売にお役立ていただけそうな記事をピックアップし、毎月お届けしています。



0-ドライヴ
RIDING SPORT
The Bike
MOTORIDER
Mr. Bike
CYCLE SOUNDS
CYCLE WORLD
MOTORAD
Auto Sport

4月発売の2輪専門誌各誌では、春の需要期を前にしたニューモデルの登場を反映してニューモデル試乗・インプレッションがぎやかにくりひろげられています。そんな中で注目されるのがFZ750の試乗インプレッション。今月はこのFZ750の評価を中心に紹介しましょう。

これは、5月1日の新発売にさきがけ、3月上旬袋井ヤマハコーズで開催したFZ750(カナダ仕様)の専門誌試乗会の結果を、各誌がレポートしているものですが、いずれの記事も、このFZ750の幅広い魅力をさまざまな観点から取り上げています。

「レーサーレプリカ達と互角以上に勝負できる性能」 記事1

と、その運動性能において、まずは高い得点を得たこのモデルですが、同時に「商品コンセプト」に対する好評の記事が多数見受けられて、

「アンチ・レーサーレプリカ待望のニュー「コンセプト」」 記事2

「すべて原点に立ち戻ったコンセプト」 記事3

と、このように、各誌は評価しています。

また、造り込みやデザイン、イメージについても好評で

「迫力こそあれ全く厭味を感じさせない」 記事4

と高く評価されているほど。中でも興味深いのが四輪車と比較イメージした「モト・チャンフ」誌の試乗記、

「四輪車と互角に勝負できるスケルンス」

記事1 レーサーレプリカ達と互角以上に勝負できる性能を持ちながら、まったく違うスタイリングと乗り味を持ったマシンが誕生した。ただパワフルなだけでなく、洗練された走りの味は、ストリートバイクに新風を吹き込むはずだ。

アメリカンというにはあまりにもハイテックな感覚にあふれたFZ750だが、走りの方も、スーパーバイク並のポテンシャルを秘めているのは間違いない。加速や最高速の伸び、というようなパフォーマンスの鋭さもあるが、ハンドリングやブレーキ性能など、コナリング性能も最近のレーサーレプリカにひけをとらないのだ。これならワインディングも楽しいぞ。

「ヤングマシン」 5月号

記事2 実際、ライダーにとって最もポピュラーな楽しみであるツーリングユースでは、まず前傾のきついレーサーライクなライディングポジションが苦痛の種になる。

ましてや本来のハイパワーを発揮するチャンスなんて一般道では少なく、逆に通常走行では扱いにくい部分があるなど、ストレスがたまる一面もあるのだ。

もちろんレーサーレプリカを否定しているのではなく、そればかりが多くてそれ以外のジャンルのモデルに、力が入った魅力あるモデルが見られなくなってしまうことが、残念でならないわけだ。

しかし、今回ヤマハからデビューしたFZ750は、そうしたアンチ

チレーサーレプリカファン待望の、ニューコンセプトモデルだ。「ロードライダー」 5月号

記事3 何の気なしにFZ750に跨り、走り出す。早目早目にシフトアップし、6速までたたき込んだ後、序々にスピードを落とす。スピードメーターの針が、10km/hを下回る頃、6速にホールドされたエンジンは、気味悪く咳込み始めた。その速度域から、驚くべきことに、FZ750は何でもなかったような顔をして加速を開始する。何という底知れぬフレキシブルさだろう！これはすごいバイクだ。

レーシーなスーパーバイク全盛の今、ヤマハは新しいカタチのバイク、FZ750により、バイク乗りたちに、新たな可能性を、そしてヤマハ自身の幅広い視野を2輪社会へ提示した。(中略)

記事4 それではFZ750とは異なる。Xは、なにを示すのだろうか。それは、ハイパフォーマンス・クルーザーとしての快適性、扱い易さを追求した結果による、ほんの僅かだがビークパワーを抑え、中速域を重視した、吸排気系のセッティングにあるといえる。

勿論、スタイリングはFZ750の主張する個性である。V-MAXと同じく、スタイリングの決定をUSヤマハに於いて行なったと言うそれは、ダミーのエアインテークが象徴するホットなドラッグスターイメージを強烈に主張するが、前傾パワーユニットとダウンドラフト・キャブとのマッチングは絶妙であり迫力こそ

くちコミ起爆剤

BMWの7シリーズ」記事6

「体に直接当たる風に、忘れかけていたバイク本来の姿のよさを感じた」 記事6

というわけでは、さらに、このFZNX750の試乗インプレッションは女性向けに輪専門誌にも登場。

と、女性レポーター猿橋聖美さんが紹介しています。

一方、モータースポーツシーズン開幕を扱った記事の中でも、ヤマハパワーの活躍ぶりは印象的。ススカ2&4大会やデイトナ200マイル等での活躍ぶりは、本誌前号でもご紹介しましたが、とりわけ興味深いのが四輪専門誌「AUTO SPORT」。

「もしあのとき、物置きが「ヤシ」になっていたとしたら、日本のF2も終わっていたかも」 記事7

という、OX66に関する優勝秘話がそれ。国内F2レースが終りを告げ、F3000時代に入ると言われた昨秋の3カ月間のあいだ、ヤマハは一貫して「F2」へのチャレンジ精神を保っていたという紹介です。



ヤマハF2初優勝/開闢男・松本雄二
平均時速180キロのデリカシー



あの空白の3カ月をよく乗り越えた
そのOX66のエンジントーク

GOGGLE
モトチャンク
カンガリン

MOTOR CYCLIST
モーターサイクリスト
Best Bike
RIDERS CLUB
オートバイ

MOTOR CYCLIST
MOTO JOURNAL
MOTORRAD
Cycle

あれ全く厭味を感じさせないのはヤマハならではの処理といえるだろう。「モトライダー」5月号

記事5 トリックキーな性格も全然ないし、ゆっくりと走ることもまた楽しいのひとつだといふことも教えてくれる。その走りはこれまでのアメリカンではないんだ。

4輪で言うと、ベントのSクラスかBMWの7シリーズなどの4ドアセダンだろうか。エグゼクティブな人を快適に乗せ（彼らは決してニューヨークタイムスを片手にうたたねをする）、ノン・ターボのボルシェにバッシングするこのクラスは、制限速度を持たないアウトバーンのビジネス特急便なのだ。

そんな、決して表面に出ない真の実力を持った、いや秘めたといったほうが正解か、バイクがFZNX750なのである。

「モト・チャンプ」5月号

記事6 排気音はやや重そうに聞こえたが、実際走ってみると、エンジンの吹け上がりはすく軽い。中低速トルクもたっぷりあって、ビックアップは抜群。ラフにクラッチミートをする、ホイールスピンをしそなくらいトルク&パワーがある。

ライディングポジションは自由度が大きく、無理な姿勢を強いられることもないので、コーナーでも結構楽。ハンドリングの軽さは400並みだし、パフォーマンスは高いし、レーシーなバイクとも十分に戦える。

最近、カウル付きのバイクにすっかり慣れてしまったが、体に直接当たる風に、忘れかけていたバイク本来の姿のよさを感じた。

「レディスバイク」5月号

記事7 「もしあのとき、物置きのコヤシになっていたとしたら、日本のF2も終わっていたかもしれませぬ。少なくともこういうことに

はならなかった」とつくづく語るのには、ケン・マツウラ・レーシンググサービス(愛媛県)の松浦賢代表。

その、物置きのコヤシ」とは、なにあろう今回のビッグ2&4レースで初めてポールポジションをとり(ジエフ・リース)、しかも初優勝(松本恵二)を記録したヤマハOX66エンジンのことなのである。(中略)

しかし、その間に(60年シーズン—編集部注)新生OX66の命運を左右するようなハプニングが起っていたのである。

60年の9月始め、突如としてイギリスのAUTOSPORT誌に、「日本でもF2をF3000にチェンジか?」という記事が掲載された。2000ccのノーマル吸気で走らわれているJAF・F2がとうとう終幕を告げ、日本もやはりF3000時代になってしまうのか? それを聞いた人のだれもそう考えたとしても不思議ではない。

このため、ドイツへのポツシュ機械式噴射ポンプなどを含め、9月の段階でヤマハOX66のパーツ特注、開発の具体的進行などに関しては、いっさい「待たせ」がかけられた。

そして、11月初旬のJAF鈴鹿グランプリの際、この話は、「61年、62年の2年間は(現行の)2000ccのF2でいく、62年のグランプリでF3000を混走させ、63年シーズンから全面的にF2とF3000の混走」という方針が決まり、ようやくOX66の開発再開が決まったのだ。

この間、3カ月。この3カ月の空白のために、OX66の生産・市販化計画は、大幅なおくれをみせた。

いま、松浦代表は「あのとき、ヤマハという会社が、よく「もうやめた」といわなかったと思つて。かえって、ヤマハのほうが「約束だからたとえ一年になってもやる」といつてくれたんですよ」と振り返る。

「AUTO SPORT」5月1日号

情報スクランブル
お忙しい販売店さんのための情報アンテナ

BOOKS

●お客さまへの話題の幅がグッと広がる
『週刊誌の読み方』

普段何気なく目にしてている週刊誌、読んでおけばお客さまとの話題にも事欠きませんが内容についての真偽のほどは、となると、ポイントと？首をかしげてしまうような記事も少なくはありません。

そこでおすすめしたいのがこの一冊『週刊新潮』の編集を21年にわたって手掛けてきた

週刊誌の読み方
亀井淳



著者が、最近起きた事件を参考にして記事になるまでの裏表をジックリと解説。今までとはちよつと違った視点から、週刊誌の記事を読むことができます。

亀井淳著・解説の特集/¥1300

★★★

●ナウイ会話の必携品
『カタカナ用語の意味がわかる辞典』

スーパリアリズム、ベンチャー、モデファイ、エスニック、パラダイム……どれを取っても最近よく耳にする言葉ですが、さてあなたは、この内のいくつ意味が判りますか？何となく耳馴れてしまい、まるで意味が判っているかのように相づちを打ってしまいうカタカナ用語。大きな誤解をまねく前に、しっかりと意味を理解しておきましょう。

WAVE MUSIC SENSOR

テンポの良きで商談快調、活動的な季節にはノリの良いBGMで店内のムードに拍車をかけましょう。東京・六本木「ウェーブ」からの最近洋楽LP情報です。

●映画も挿入歌も話題タツプリ

『Absolute Beginners』
(アブソリュート・ビギナーズ)

話題を呼んでいる同名映画のサウンドトラックです。タイトル曲を歌うデビット・ボウイをはじめ、シャレード、スタイルカウシル、ワーキングウイークなどビッグな顔ぶれが揃い、全編ジャジーな雰囲気のみならず、



★★★

●じっくり楽しめるナイスボーカル
『Anna Domino(アンナ・ドミノ)』

クレプスキュールのエキゾチックな歌姫、アンナ・ドミノのニューアルバムです。60年代のフランス映画のようなアンニュイなムードいっぱいの歌声は、とてもセクシーです。

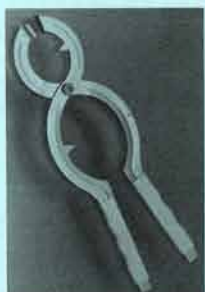
日本実業出版社/¥1200



TOOL

●なぜか初登場のスプレー缶穴あけ器
『カンチ』

3億5千万本、これは日本で1年間に消費されるスプレー缶の数です。そして、このほとんどが中身が終ると残ったガスを抜かないまま捨てられています。この



EVENT

●10倍楽しい黄金週間
『合歡の郷/YOU・遊カーニバル』

テニスやアーチェリー、ゴルフなどのランドスポーツからクルージングやボートセイリングなどのマリンスポーツ、また林間ドライブアルコースやカートコースなどのモータースポーツ施設も充実の総合リゾート『合歡の郷』では、4月26日(出)から5月5日(入)までの10日間、230万㎡の広大な施設のすべてを使い『YOU・遊カーニバル』を開催します。期間中は、ヤマハ・バイクコレクションをはじめ世界から集めた楽しい催物が常時開催されていますので、お客さまと一緒にぜひお出掛けください。

お問合せ…合歡の郷(三重県志摩郡浜島町大崎半島) ☎05995(2) 1111/東京 ☎03(572) 3588/名古屋 ☎0

『カンチ』は、ワンタッチでスプレー缶に穴をあけ、中のガスを抜くアイデア商品。潤滑剤や塗料、チェンオイルなど、お店で使われるスプレー缶はキチッとガス抜きをして安全に処理しましょう。
お問合せ(株)コクサイ ☎03(372) 6052/¥980

★★★

●手を加えてみたい面白さ
『1/12ヤマハSRX-900』

田宮模型の1/12シリーズに、新しい仲間として『SRX-600』が加わりました。もちろんクオリティは今まで同様、金属パーツやメッキパーツを存分に使ったスケルプラモ。本物に負けない仕上がりは、そのまま作るばかりでなく、手を加えてカスタム化も楽しめます。お店のディスプレイとして、またお客さまへのちょつと変ったプレゼントとしても面白く活用できそうですね。
田宮模型/¥1000



★★★
●遠州路・三河路の新ツーリング基地
『ヤマハマリーナ浜名湖ツーリングパーク』

浜名湖のマリンレジャーの中心地としてその名を知られる、ヤマハマリーナ浜名湖では、4名以上のグループツーリングに便利な『ツーリングバック』を用意しました。豪華なマリーナビルでの宿泊にマリーナ自慢のシーフード料理、オプションとしてボート遊覧やテニスなども加えたライターのためのひと味違ったバックです。ぜひ初夏のツーリングプランにお加えください。

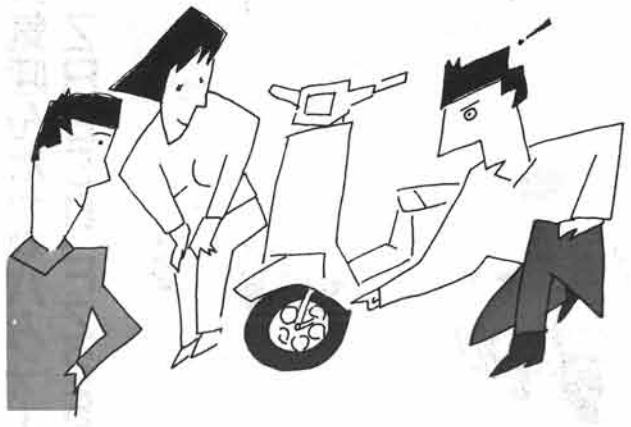
お問合せ…ヤマハマリーナ浜名湖(静岡県湖西市入出字長者1380) ☎05357(8) 0711/料金…1名につき¥7500(泊二食付、4名以上のグループでお申込みください)

◇一般商店の集客法を積極活用

本格的な需要期を迎えて、どこのお店も展示会や試乗会、点検サービスなど、さまざまな販促セールの展開して需要喚起に余念がないことでしょう。そこで、こうした販促活動の成否を決める「集客」にお役立ていただけるアイデアをひとつご紹介しましょう。

「バイク販売店がやるセール」というと、どうして二輪車に乗る人や二輪車に興味を持つ人たちが対象になっているようで、一般の人たちは足を運びづらい面も多いのだ。これは何故原因しているのかと言うと、食品や日用雑貨を扱うお店ほど、バイク販売店は地域の人びとの普段の生活と密着していないということではないか……」

……という反省に立って、二輪車販売から、一歩離れた集客イベントを販促セールに取入れたのが東京都のS店さん。イベントの内容は「落花生のつかみ取りゲーム」という、ネー



ミングからして二輪車とは無関係な生活に密着したものの。あらかじめ決めておいた重さになるべく近い重さの落花生をつかんだ方が優秀賞、ヒタリと当ればステキな賞品が貰えるという単純なゲームでしたが、そのネーミングとソフトな内容がズバリと当ってバイク好きのお客さまはもちろん、地域の奥さま方まで集めて大盛況を納めることができました。

このイベントの成果についてK店長は「普段オートバイと関係ないところにいる人たちが店に呼ぶことができたことと、そういつた人たちがゲームを通じてコミュニケーションできたことが最大の成果だと思います。こういったきっかけを大切に、今までになかった層の人たちをユーザーにしていきたいですね」と笑顔で語っていました。

◇スクーターにもハイグリップ・タイヤノ

タイヤ特性……などといえば、よりシビアな走りを楽しむスポーツユーザーの会話とばかり考えていたのが、なんと最近ではこんな会話がスクーターに乗るヤングやギャルの間でも頻繁に交わされているのですから、ビックリ。

全国的なスクーターレースの 에스カレートの中で、レース用ハイグリップタイヤが、ついにスクーターにも登場。スクーターレースに出場するお客さまがこぞって装着し、店頭でもスクーター用ハイグリップタイヤの話でもち切り、というお店さえあるほどですが、そんな1店・埼玉県のB店さんでは「レースに出ないスクーターユーザーまで、ファッションでハイグリップタイヤに代えていく」ということです。

◇ちよつとした工夫で効果倍増の伝言板

お店にあるインフォメーションボードから駅の伝言板、また大イベント会場の大形伝言



板まで、伝言板は人が集まる場所ならどこでも見かけるし、それなりに重宝な情報媒体ですが使用頻度が上がれば上がるほど情報が雑多になって、利用しづらいのもまた事実です。そこでちよつと工夫。情報を内容別に整理してあげれば、伝言板は使い手にとって便利このうえないものとなります。たとえばお店のインフォメーションボードなら、イベント情報、中古車情報といった具合にボードに支切りをつけて分けてあげます。また、大会場の伝言板なら、ア行、カ行、サ行といった宛先別の見出しをつけておくのもいいでしょう。みんなさりげなく使うものだけに、ちよつとした親切がよろこばれ、意外な評価を呼ぶことでしょう。

◇今後の店舗演出のポイントは「光」

最近よく耳にする言葉、ビジュアル・コミュニケーションという言葉をご存知ですか？これは視覚伝達という意味を持つ言葉なのですが、店舗演出などはまさにこのビジュアル・

コミュニケーションをどこまで完成できるか、という作業に他なりません。

そこで、今後の店舗演出のポイントを探しに、近未来の店舗のあり方をテーマに毎年開かれている「ジャパンショップ」会場へと足を運んでみると、店舗機器メーカーがこぞって打出しているのが、「光」の活用。

高級品を高級品に見せるライティング、虹色に輝やくディスプレイボード、レーザー光線を駆使したショッキングな照明など、今までの空間活用法に光をプラスした演出が目立っていました。ちよつと見るとヤングが集まるデイスコのような印象さえ受けますが、これからの若いお客さまを引きつけるには、こんな大胆な「光」の演出がポイントとなりそうです。

セールス★ワンポイント 5月

- 1日 メーデー
- 2日 八十八夜
- 3日 憲法記念日
- 5日 こどもの日・菖蒲湯
- 6日 立夏
- 10日 愛鳥週間
- 11日 母の日

- ★ゴールデン・ウィークが終わると季節は初夏。店頭も思い切ってさわやかな初夏のイメージに一新の時です。
- ★1年中でも一番さわやかなこの季節は、運動会などいろいろなレクリエーション大会のシーズン。町内会、子供会、会社、グループ……と地域でもいろいろ催しが行なわれることでしょう。積極的にこうした活動に協力したり、参加しましょう。地域の入びとのコミュニケーション強化には、またとないチャンスです。
- ★下旬になると南の方から、梅雨のたよりも聞かれます。雨の日も安全に、さわやかに！お客さまの6月のバイクライフを守る定期点検や雨具類のおすすすめもお忘れなく。
- ★7月に入るといよいよポーンズシーズン。相ついで登場したニューモデルのご紹介もあわせて、夏のポーンズセールで、ぜひ代替や増車のおすすすめ。

第2回ヤマハカップレディスオープン 栄冠は涂阿玉に!



スポーツユーザーの間に本格的なシーズンの到来を告げる、恒例の東京モーターサイクルショーが、3月20-23日までの4日間、東京・大田区の東京流通センターにのべ4万2千人の来場者を集めて開かれました。

第15回東京モーターサイクルショー開催 TZR250、'85最優秀二輪車大賞に!

今年も一番人気のヤマハコーナーでは、5月から登場のYSR50やFZX750が参考出品され、TZR250、FZ250フェーザーなどの人気モデルとともに大きな話題を呼んでいました。

また、期間中に二輪ジャーナリストやテストレポーターなどによって「85年中に発売されたモデルを対象に「85最優秀二輪車大賞」の選考も行なわれましたが、昨年の第1次選考でノミネートされた12台の中から、みこと「TZR250」が、大賞に選ばれました。



人気呼んだヤマハ・クォーターフェア TZR250、FZ250フェーザーサーキット試乗会

3月27日-28日の両日、山口県の西日本サーキットに、中国、四国、九州3地方のお客さま約350名を集めて、TZR250、FZ250フェーザー試乗会がひらかれました。1周2.8km、アツプダウンに富んだテクニカルコースを1人1時間、参加したみなさんは、たっぷりとTZR&FZの走りを満喫されていました。

これは、本格的なスポーツバイクシーズンの開幕にあわせて3-4月の2カ月にわたって開催した、ヤマハ・クォーターフェアの一環、袋井ヤマハコースと西日本サーキットでのべ4回にわたってくりひろげたサーキット試乗会のひとコマですが、このクォーターフェアは全国各地で大きな反響を呼び、この春のスポーツ商戦を大いに活気づけています。

銀座通りでヤッピーの 知的空間を演出するSRX600

東京の銀座通りに面した7丁目、日本楽器・銀座店ショールームは、音楽好きのヤングや行交うジョッピンク客でにぎわうヤングスポットですが、このショールームに3月中旬からSRX600が展示されて話題を呼んでいます。

これは、ショールーム内のイベント

ト空間に再現されている知的アタルト・ヤッピーを対象としたショールーム演出のひとつとして登場したもので、日本楽器のCDやLVなど豊富なデジタル機器とびたりとマッチしたSRX600が、みごとにヤッピールームを演出しています。なお、この展示は7月まで行なわれています。

今年2回目を迎えた「ヤマハカッブレデイスオーブン」が、4月11日から3日間、静岡県の葛城ゴルフ倶楽部宇刈コースで開かれました。塗阿玉、大迫たつ子、樋口久子、吉川なよ子ら内外のトッププレーヤー55名が顔をそろえたこの大会は、

台湾勢と日本勢の対決でつめかけたギャラリーを沸かせましたが、結局塗阿玉が、3日間通算イーブンパーで並んだ北野ユキエをプレーオフの末にくだして優勝。賞金500万円を獲得しました。

原付新ルールをアピールして 銀座通りをミントがパレード

〔ヤマハ東京株〕デビューほやほやのヤマハ・ミントが東京の銀座通りをパレード。土曜日午後の買い物客のみなさんに、原付の新ルールをアピールしました。

「これは、4月6日から15日までの春の交通安全運動の一環として4月12日に、地元の警視庁築地警察署が主催した、原付新ルールキャンペーン」のひとコマ。すでに今年1月からスタートしている大きな交差点での二段階右折、また7月5日からスタートするヘルメット着用義務化などを、実際のデモ走行でアピールしたものの、参加した5台のミントは、パレードするスクーター群の中で「かわいーい」とひととき人気を呼んでいました。



ご利用ください！ ヤマハ企業PRフィルム&ビデオ完成

幅広いヤマハの企業活動を総合的にご紹介する新しい企業PRフィルム&ビデオ。ウィー・ラブ・ヤマハが完成しました。

23分30秒にまとめたこのフィルムには、ヤマハの商品開発の姿勢、研究開発と生産ラインさらに海外工場

の模様が収められているばかりでなく、暮しに、レジャーに、陸に、海に世界中でヤマハ製品を利用されている人々の姿がいまひとつ描かれています。また新しいライフスタイルの提案、さまざまな需要創造活動の紹介、レース活動なども盛り込まれ、

次代の販売店経営に夢ふくらませて 第3期ヤマハ奨学生卒業



販売店さんの後継者の方がたを対象とした教育制度「ヤマハ奨学生制度」がスタートして早や6年。この春には、23名の第3期生のみなさんが3年間にわたるヤマハ販売会社でのサービスマスターとしての研修とヤマハ本社における集合教育を終えて、無事卒業しました。

3月7日に行なわれた卒業式では、みなさん決意も新たに、次代の販売店経営の夢を語りあっていました。

全日本選手権第3戦・SUGOロードレース大会 コースレコード樹立とワン・ツー勝利で YZR250堂々デビューレースを飾る!



Vツイン・YZR250で最激戦区のA250ccに最も安定した速さをみせた長谷川嘉久

時ならぬ春の雪でメインレースが中止となった第2戦筑波大会から2週間、4月6日、スポーツランドSUGOに2万3千人の観衆を集めて86全日本選手権ロードレースシリーズの第3戦が開催された。500ccとF1以外のクラスにとっては事実上のオープンングレース。とくにチャンピオン平忠彦の世界GP挑戦でやや淋しくなった国際A級500ccクラスとは対照的に、今シーズン一番の激戦が期待されている国際A級250ccクラスの

待望の開幕戦でもあった。

さて注目のA250ccクラスは、初登場の2台のYZR250の片山信二、長谷川嘉久を筆頭に32のスターティンググリッドに対してエントリー18台という大激戦。そんな中で昨シーズンの500ccから今年250ccにスイッチした長谷川は、水冷・VツインYZR250で予選1分5秒91のSUGOのコースレコードを樹立してポールポジションを獲得。決勝でも前半から好位置をキープ、13周目に

●平、GP前哨戦で5位入賞ノイモフ200マイル

5月4日から開幕する'86世界選手権ロードレースシリーズの前哨戦・イモラ200マイルレースが4月6日、イタリアのミサノサーキットで開催された。
このレースの250ccクラスに、ヤマハ・マルボロチームからYZR250を駆って出場した平忠彦は、1周目の7位から3周目には3位に進出する好調ぶりを示したが、結局5位でゴール。しかし3年目のヨーロッパに一段と安定した速さをみせ初のGPフル挑戦のスタートに確実な一歩を進めている。なお、このレースは、平のチームメイトYZR250のM・ウイマー(西ドイツ)が、2位に1秒半の差をつけて優勝。また500ccクラスでも、今シーズンヤマハ・マルボロチームからYZR500で出場のR・マッケルナが余裕の走りで優勝。シリーズへの期待を集めている。

全日本選手権第2戦・中国モトクロス

光安両ヒート制覇のパーフェクト・ウイン
ルーキー川崎もA125を制して、ヤマハ完勝



YZR250がSUGOロードコースで華やかなデビューを飾った同じ4月6日、岡山県新見市の備北ハイランドパークでもヤマハパワーが大活躍した。この日2戦目を迎えた'86全日本選手権モトクロスの国際A級125、250両クラスをみごとに制覇してファンの人気を集めたのだ。
3月15、16日の関東大会で開幕した今シーズンの全日本モトクロス。唯一人ヤマハファクトリーマシンYZM250を駆って出場している

光安鉄美は、第1戦の第2ヒートで東福寺保雄と壮烈なデッドヒートを展開、ゴール手前10mで両者そろって転倒し、立直りの一瞬の遅れで惜しくも2位に甘んじてしまったものの、この時から'86YZM250の戦闘力に大いに自信を深めていた。

そして迎えた第2戦、全日本モトクロスは初めての備北ハイランドパークのテクニカルコースに、光安とYZM250は再び目の覚めるような走りを披露した。

特報

'87年8月29日~30日、スポーツランドSUGOで、F1世界選手権開催!

'87年の8月29日(公式予選)と30日(決勝)の2日間にわたり、スポーツランドSUGOにおいて「'87年TTフォーミュラ世界選手権SUGO大会」が開催されます。

(株)菅生とMFJ(日本モーターサイクル協会)の共同主催によって開かれるこのレースは、

SUGOロードコースもFIM公認コースに改修!

また、TT-F1世界選手権SUGO大会の開催にあわせて、SUGOロードコースも大幅に改修。'87年4月には、全長3.737kmのテクニカ

'87TTフォーミュラ・世界選手権の第9戦(予定)に当るもの。YZF750をはじめとするTT-F1マシンを駆って、世界の強豪が対決する、「一般市販車による世界の頂点レース」にどうぞご期待ください。

ルコースに変身。観客収容能力も5万人を計画、より安全で快適な国際公認コースとして生まれ変わることになっています。



トップに浮上すると2番手の喜多祥介と猛烈なトップ争いを演じて会場を沸かせ、結局最終ラップ喜多の転倒で、YZR250を堂々のデビューレース・ウィンに導びいた。また、もう一台のYZR250・片山信二も安定した走りでも2位に入賞、みことなワン・ツーフィニッシュで、この日の話題をさらってしまった。

一方、A級500ccクラスでは、平欠場の後を受けて大ベテラン河崎裕之が3月のスズカ2&4につづいて大活躍。木下恵司、八代俊二、水谷勝らのトップライダーを従えて22周目までトップをキープしていたものの惜しくも転倒リタイヤ。YZRの2クラス制覇はならなかった。



YZR250のデビューをみことなワン・ツーで飾った長谷川(中央)と片山(右)



ルーキー優勝! 番乗りを果たした川崎智之とYZ125改の走り



第1ヒートは、1周目から早くもトップに進出し、岡部篤史、東福寺の追い上げで、中盤は3人の好バトルを展開したものの、光安のスピードは一向に衰えをみせず、みことなでゴール。

第2ヒートも30分+2周の間に東福寺と10回以上も首位の入れかわる攻防戦をくりひろげて観衆を喜ばせたが、結局光安が東福寺の追撃をしりぞけて優勝、昨年第2戦・九州大会以来の両ヒート・パーフェクトウインを達成した。



例年にも増して気力充実の光安、YZM250のポテンシャルを100%発揮して1レース毎にめざましい走りをつづけている

一方、国際A級125ccでは、A級一年生の川崎智之がYZ125改で両ヒート2位の総合優勝、ヤマハにみことなA級2クラス制覇をもたらした。

250cc級世界選手権第1戦・オランダ・ユ・ジャン・ズ、3度目の正直へ好スタート

250cc級の世界選手権モトクロスシリーズが、3月8日、9日のオランダGPで開幕した。'84年、'85年と2年連続して僅差でチャンピオンを逃してしまつたフランス・ソノールチームのジャッキー・ビモンドが、YZM250を駆ってこの開幕戦、第1ヒート7位、第2ヒート1位の総合優勝。マシンのポテンシャルアップのめざましいことも加わって、今年こそは! と本人もファンも、大いに期待を高めている。

5月のレーシングカレンダー

- 5月4日 ▼世界GPロードレース①・スペイン
- 500ccモトクロス④・スウェーデン
- 250ccモトクロス③・フランス
- 125ccモトクロス④・ベルギー
- 5月11日 ▼全日本ロードレース⑤・筑波
- 全日本モトクロス④・鈴鹿
- 500ccモトクロス⑤・フィンランド
- 250ccモトクロス④・イタリア
- JAF・F2③・西日本
- 5月18日 ▼世界GPロードレース②・イタリア
- 5月25日 ▼全日本ロードレース⑥・SUGO
- ▼世界GPロードレース③・西ドイツ
- 250ccモトクロス⑤・チェコ
- JAF・F2④・鈴鹿

●このページは、ヤマハ発動機各課から販売店のみなさまへの業務連絡です。さらに詳しくは、担当のセールスマン、各特約店、販売会社の営業技術課(サービス)、普及課(セフティ/モータースポーツ)、部品営業課(パーツ)までお問合わせください。

金利引下げと所要資金分の一本化で

ますます使いやすくなったヤマハラらくらくクレジット

4月1日取扱分より「ヤマハラらくらくクレジット」の料率体系が一新され、お店にとっても、お客さまにとってもさらにご利用いただきやすくなっています。

具体的な改定の内容は、従来3〜50万円未満と50〜100万円未満のふたつの所要資金区分によって実質年率が異なっていたものを、3万円以上100万円未満に一本化されたこと。

また実質年利も均等払いで17.25%〜29.75%であったものが15.75%〜23.75%へ、ボーナス一括払いで4%から3%へと引下げられています。

これらはいずれも最近の低金利傾向に対応させたもので、よりシンプルになった料率体系とともに金利感覚に敏感な現代のお客さまにもよりご利用いただきやすくなっています。

なお、詳細および料率早見表などは担当のセールスマンにお問合わせください。

SALES

やさしい手続き

支払いらくらく

ヤマハラらくらくクレジット

〈ヤマハラらくらくクレジット料率体系変更内容〉

■所要資金区分

従来	改定
3〜50万円未満	3〜100万円未満
50〜100万円未満	

■実質年率

従来	改定
17.25%〜29.75%	15.75%〜23.75%

■ボーナス一時払料率

従来	改定
一括払 4%	3%
二括払 6%	5%

■手数料料率

コース	50万円未満		50万〜100万円未満		3万円〜100万円未満	
	料率	実質年率	料率	実質年率	料率	実質年率
3回	5%	(29.75)	4.8	(28.5)	4%	(23.75)
6回	8	(27.0)	6.6	(21.25)	6	(20.25)
10回	10	(21.25)	9.0	(19.25)	8	(17.0)
12回	12.5	(21.25)	10.7	(19.25)	9	(16.25)
16回	15	(21.25)	14.1	(19.25)	12	(16.5)
20回	18.5	(21.25)	17.0	(18.5)	15	(16.5)
24回	20.5	(18.5)	19.4	(17.5)	18	(16.5)
30回	27	(18.5)	24.0	(17.5)	22	(16.0)
36回	31	(18.5)	28.6	(17.25)	26	(15.75)

東京、大阪、福岡を起点に、

初夏の北海道へジェットツアーリング

前号本欄でもご紹介しました6月実施予定の「Y.E.S.S.ジェットツアーリング in北海道」の要項が次のように決定しました。

4台以上の小グループでも随時ジェットツアーリングを楽しめるシステムを制定。この6月下旬から全国Y.E.S.S.ショップを窓口としてスタートさせる予定です。詳しくは、後日ご案内いたしますので、お客さまへのPRをよろしくお願い致します。

なお、Y.E.S.S.ではこうした団体によるジェットツアーリングのイベント企画のほかに、

※詳しくは、担当セールスマンまでお問合わせください。

日程		募集締切		出発地		旅費		定員		宿泊	
第2回	6/17(火)	第1回	6/14(土)	羽田・発	4000CC以下	45名	1泊目(日高)	80名	2泊目(サロマ湖)	45名	東急リゾートホテル
6/16(月)	6/13(金)	5/20(火)	5/14(土)	大阪・発	4000CC以下	45名	3泊目(旭川)	80名	3泊目(旭川)	45名	ホテル東急イン
6/15(日)	6/12(木)	次期締切	5/20(火)	福岡・発	4000CC以下	45名					

- 参加はあくまでY.E.S.S.スタッフに限り、(申込時にスタッフ登録した方も参加できます)
- 旅費の中には、往復航空運賃、バイク空輸代(タンデム乗車の参加者料金には含まれていません)、宿泊代(3泊)、食事代(3朝食・1夕食)が含まれています。
- 75cc以上のバイクは、バイク空輸代のみ別途ご相談させていただきます。
- 宿泊はすべてツインとなります。
- 募集窓口は、全国Y.E.S.S.ショップにて行ないます。

ご協力ありがとうございました
サービス機器・工具特別セール終了

好評のうちに開催してまいりましたサービス機器・工具の特別セールは、4月30日をもって終了させていただきました。この機会を利用してサービス工場の機器の充実をおはかりいただいた販売店さまの数は、当初予定を大幅にオーバーするもので、改めて販売店みなさまのご協力にお礼申しあげます。

新版サービスマニュアル
ご紹介

5月から相ついで登場するニューモデル、

マイナーチェンジモデルのサービスマニュアルが次のとおり完成いたしました。もよりのヤマハ特約店・販売会社の営業技術課へお申込みのうえ、どうぞご利用ください。

- ▼ YSR 50 (2AL-28197-00) 注文 No.321105 価格2600円
- ▼ FZX 750 (2AK-28197-00) 注文 No.321106 価格3000円
- ▼ FZR 400 (1WG-28197-00) 注文 No.321107 価格3200円
- ▼ CE 50 E (ジョグ追補版) (2EX-28197-05) 注文 No.321109 価格200円



ヤマハ技術講習会修了者ご紹介

〔2月13日～15日・2～2気筒コース(神戸)〕
後列左からオートギャラリー滋賀・桂正宏様
同・中島一徳様、ジャンボマリン・西宮義人様、
二輪ショップタキ・中村幸広様、折本自
転車商会・折本明様、末広オート商会・高倉
康宏様、前列左からジャンボマリン・前田武
雄様、フレンド商会、安達文輔様、レオタニ
モト・森幹雄様、同・別城幸弘様、西内商会・
西川秀男様

お店のお客さまもふるってご参加ください
第19回二輪車安全運転全国大会

8月9日、10日の両日、三重県のスズカサーキットで開催される「二輪車安全運転全国大会」の実施要綱が決定しました。それによると、これまでの法規履行走行が廃止され、技能コース(A)においてバランステクニックとともに交通法規の履行運転やマナーなどをあわせて採点する、まさに二輪車安全運転の総合的なテクニックを競いあう内容に一部変更されています。また、各県代表が7つのセクションでバランス・テクニックを競いあうトライアルが、アトラクションとして行なわれます。

さらに詳しくは、各県の二輪車安全運転推進委員会より発表され、地域によっては間もなく県予選大会が開始されます。今年で19回目を迎える「二輪車安全運転全国大会」に、お店からもクラブ員やお客さま、こぞでご参加いただこう、どうぞご案内ください。

- ▼日時…61年8月9日(土)・10日(日)
- ▼会場…鈴鹿サーキット
- ▼競技種目…技能コース(A)、技能コース(B)
- ▼車両…50ccスクーター、125ccスクーター、400ccスクーター、750ccスクーター

〔2月19日～21日・4～DOHC・3日間コース(神戸)〕
後列左から藤比呂・小谷一伸様、中西和道様、YSP東大阪・大西浩之様、田中輪業商会・阪本一雄様、前列左からオートギャラリー滋賀・藤居博之様、朝倉モータース・下元考司様、スポーツショップ三宅・三宅誠様



〔2月13日～15日・2～2気筒コース(静岡)〕
左からオートサイクルショップイワモト大場敏様、バイクスポーツブルーラス春井美徳社長、モトハウス21st相川清春様、同・前田謙美様、セフティモーター大連桜井裕己様、YDS OKABE・津田忠則様、バイクガレージミズノ・瀧美宏樹様



〔2月27日～3月1日・4～DOHC・3日間コース(神戸)〕
後列左から二輪館・光善坊亘様、ヨシムラホンダ・志村光男様、前列左から二輪館・海部敏靖様、モータースサイクルショップ河端・河端邦男様、

もつと観になりましたが
ヤマハ社提供の新テレビ番組「オン・アンド・オフ」

4月4日からスタートした、ヤマハ1社提供の新しいテレビ番組「オン・アンド・オフ」もうご覧いただきましたでしょうか。バイクとマリンスポーツの総合情報テレビ番組として登場したこの「オン・アンド・オフ」は、ヤマハの総合的なスポーツレジャーの世界をより多くの人たちに紹介するユニークなスポーツレジャー情報番組です。お店でもお客さまとの話題づくりにどうぞご利用ください。

- 〈ON&OFF・放送局/日時〉
- テレビ東京、テレビ大阪 毎週金曜日
- テレビ愛知、テレビせとうち 23:30～23:45
- 静岡放送 毎週日曜日 17:15～17:30
- 〈6月の月曜ロードショー(案内)〉
- ▼5月5日「ボセイドン・アドベンチャー」転覆した豪華客船を舞台にしたスリル&サスペンス。シーン・ハックマン主演。
- ▼5月19日「エアポート80」アランドロン、シルビア・クリステル、ジョージ・ケネデ

イらが彩るパニック・スペクタクル。
▼5月26日「パニシング・イン60」カーアクション映画の決定版
※月曜ロードショーは、TBS、HBC、ATV、IBC、TBC、TUF、BSN、SBC、VTY、MRO、SBS、CBC、MBS、BSS、RSK、RCC、KUTV、RKB、NBC、RKK、OBS、MRT、MBC、RBC以上24局の同時ネットで、月曜午後9時2分から10時54分まで放送されます。



夢は、クラブ員の

マン島TTレース出場

回モトショップ・アングル 石井 進社長(東京都大田区千鳥3-18-3)

アングル・レーシング



風薫る5月、いよいよ最高のモータースポーツシーズンの到来です。とくにTZR250の登場以来、全国のサーキットはスポーツ走行の、SPレースのお客さまで大にぎわい。昨年にも増してにぎやかな歓声がとびかっています。そんな中から今月は、SUGOやツクバでひときわ目立つ仲間たち、アングルレーシングのみなさんにご登場いただきました。

●気がついたら、SPレース主体に

昭和50年の5月12日「モトショップ・アングル」さんの創業と同時に活動を開始した「アングル・レーシング」のみなさん。部品専門店であった以前のお店に集まっていた約20名のお客さまが、そのままメンバーとなって新しいクラブ活動を始めたのです。

でも当時の活動は、もっぱらモトクロスが中心でした。それが3、4年ほど前からはロードレースが主体に……。

「すべてはRZ250の影響ですね。あれが出てからサーキットに走りに行く人、プロダクションのロードレースに参加する人がしだいに増えて、気がついたらうちのクラブもロードレース主体になっていた」と笑う石井社長。

●クラブ員には救護士が5名も

現在のメンバーは18才のヤングから46才のアダルトまで20名。長く続けている人が多いだけに、ベテランが若いヒギナライダーをうまくリードしていく理想的なカタチが生まれています。そして、そんなベテランライダーの中には、レスキューレンジャー(救護士)資格を持つ人も多く、それがサーキットでのクラブ員そろっての活動を安心して行なえるものとしているようです。

「5名のレース経験者が救護士資格を取得しています。ロードレースに転倒はつきもの、それだけに彼らの存在はクラブ員全員に大きな安心感を与えてくれますね」とMCF AJの支部長も努める石井社長は語ります。

●アットホームなクラブで、シビアな姿勢で

ロードレースに取り組む

そんな石井社長のクラブ運営に対する姿勢は、クラブはファミリー、兄弟みたいなつきあい方で、メンバーそれぞれが可能な範囲で楽しめばよい」ときわめてアットホーム。しかし、反面、レースに対しては最高にシビアな姿勢を持っています。

「レースはスポーツ。それをする人は礼儀をわきまえ、正しい姿勢で臨まなければ」というわけだ。

「国際A級になれ……なんて決していわないけど、やはりスポーツですからそれを通じて、精神的にも、体力的にもつよくなつて欲しいですからね。多少の無理をしながらも打込ん



ご注意ください! 記載洩れによるトラブル

Y.E.S.S.スタッフへの郵便物が、相変わらずかなりの量で返送されてきます。スタッフ登録の受け付け時にはくれぐれも正確な記載をご指導いただくとともに、その後に変更が起きた場合は必ず連絡をいただくようアドバイスをお願い致します。

スタッフ登録時の注意

Y.E.S.S.スタッフとしてご登録いただく場合は、事前に参加申込書へのご記入がいかにか重要であることを説明して、各項目とも正確にご記入いただくようご指導ください。

- 住所、氏名には必ずフリガナをつけさせてください。
- 住所は、番地、アパート名、部屋ナンバーまでキチンと記入させてください。
- 電話番号も必ず記入させてください。(自宅にない場合は勤務先の電話を)

変更手続きの要領

住所および氏名の変更があった場合は、必ずお店に連絡するようスタッフへの指導を徹底してください。そして、それらの変更手続きは、必ずスタッフ参加申込書を通して行なってください。

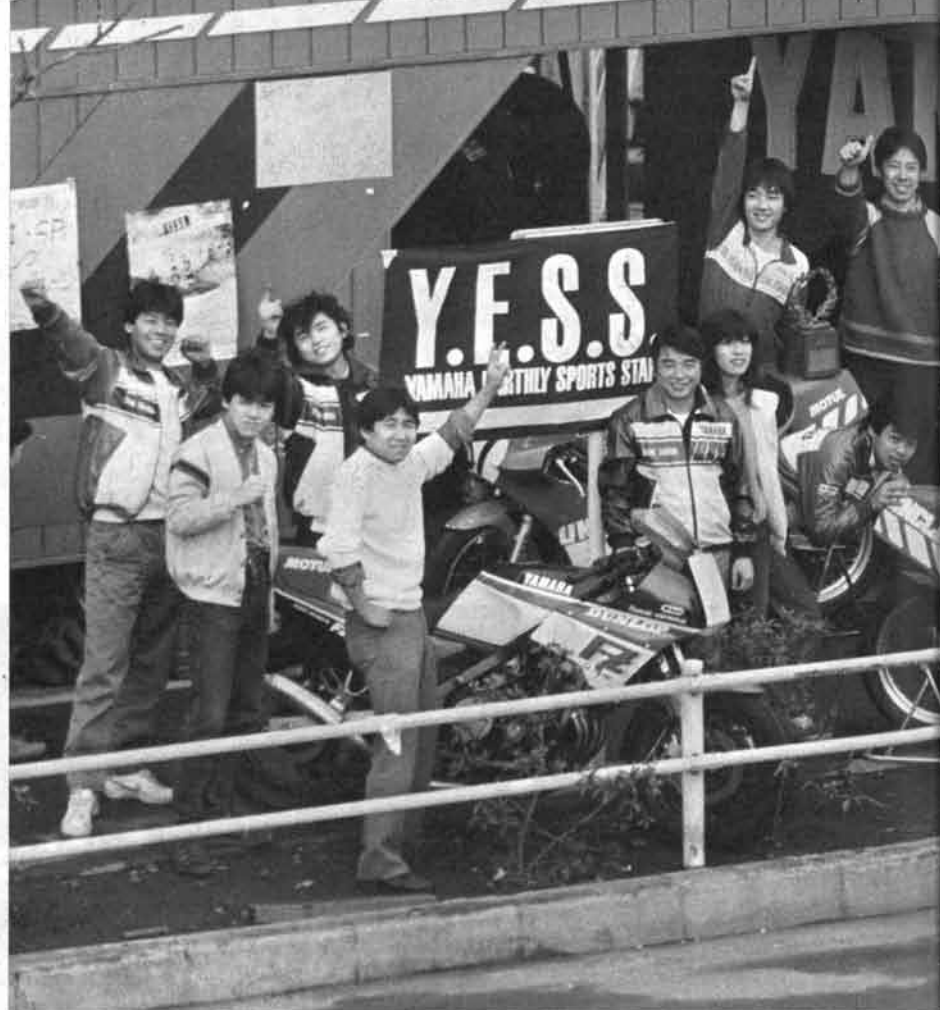
- スタッフ参加申込書の右上(コード欄上)の空スペースに、赤字で「住所変更」もしくは「氏名変更」とご記入ください。
- 住所変更の場合には、氏名と新しい住所(新しい電話番号も)を、赤字でそれぞれの指定欄にご記入ください。
- 氏名変更の場合には、新しい氏名欄にご記入ください。
- なお、スタッフ参加申込書は、ご本人控、加盟店控、拠点控、本社控の4枚綴りの複写タイプになっていますが、この変更手続きにつきましてはご面倒でもそれぞれ1枚ずつに赤字で上記の要領による変更記載をお願い致します。

郵便局への転送届け

また、住所変更されたスタッフで、いまだに郵便局への転送届けを出されていないお客さまがおりましたら、すみやかにその手続きをされるようご指導ください。



石井社長(左から3人目)を中心に、全員一丸となってクラブ活動をバックアップするモトショップ・アンクルのみなさん



でいる若い子を見ると自分の昔を思い出してついつい助けてやりたくなる(笑)

そして、こんな石井社長を支え、精神面で、またテクニカルな面でクラブ員のよきアドバイザーとなっていてのが往年の名ライダー安良岡健さん。こうした、2人のすばらしいリーダーに率いられた「アンクルレーシング」のメンバーは、月2回のミーティング、毎月3回のスポーツ走行会といった活動を、気持よいほど規律正しく楽しんでます。

また最近では、そんな中から「ロードレースをする自分たちは一般ライダーの模範にならないければ……」という自覚も自然に生まれ、メンバーのバイクに対する愛着、マシン整備などに寄せる情熱も大いに高まってきているともいいます。

でも、「サーキット一直線」なんて近視眼的でないところが「アンクルレーシング」のみなさんの良いところ。たまにはバランス感覚や持久力をつけよう」とオフロードやモトクロスコースにも走りに行きます。

そして、熱心にバイクに取り組むそんなクラブ員の姿を見守りながら、石井社長がフト夢見るのは「ロードレースの原点・あのマン島TTレースに、ぜひクラブ員を出場させた」ということなのです……。



“安心感”を与える新店舗

マン・ツリー・マンの接客でお客様さまを拡大

YSP大阪北 辻 繁夫社長

大阪府寝屋川市初町2-1-8
 ☎0720(24)65608

創業4年目を迎えた昨年の春、ようやく軌道に乗りだしたご商売を一気に拡大しようとしてそれまでの5倍の面積を持つ新店舗に移転した辻社長。その成果のほどは、「スポーツ車販売3倍増」の実績によってみごとに証明されていますが、辻社長はこの勢いでさらに飛躍を、とこの2月から「YSP大阪北」としてまた新たなスタートを切っています。

●スクーターからスポーツへ、
 確実にステップアップする
 お客様さま

大阪と京都を結ぶ京阪電車の沿線に広がる寝屋川市。「YSP大阪北」さんは、この街のほぼ中央、京阪・寝屋川市駅、市役所、商店街などが立ちならぶ一角にあります。お店の前は生活、産業道路として交通量の多い国道170号線。こんな市場だけに、「YSP」とはいえ、スクーターを切り離して考えることは不可能で、実際にお客さまの7割は、スクーターユーザーです。

そんなスクーターユーザーの6割は、10代のヤング。そしてこのヤングスクーターユーザーの半数以上が、しばらくすると250cc以上のスポーツバイクに確実にステップアップし、お店の顧客として固定化しているというのがなんととっても「YSP大阪北」さんのご商売の特徴といえるでしょう。

●“安心感”を求める
 若いお客さまに応えたおづくり

このようにお客さまの心をしっかりとらえてしまう「YSP大阪北」さんの魅力、その第1は、330平方メートルと広びろとした、入りやすい店舗です。そして、この店舗演出の狙いを辻社長は次のように語っています。「前の店舗の5倍もあって、ちよっと広すぎ

るかな、なんて心配もあったんですけど(笑)、でもヤマハの商品構成を考えれば、これくらいはと思って、国道に面した倉庫を改装したんです。

最近の若いお客さんと接していてつよく感じるのは、とても厳しく店を選んでいうことですね。もちろんサービス力とか店員の応対の良さなどもありますけど、なんといっても彼らは、「一見して安心できる店」という印象をすごくだいじにしていますよ。

店の前を通っただけで、本体や用品の品ぞろえからサービスマン工場の充実ぶりまで、すべてが表に出ていて見えるような店に安心感を抱くようです。

うちでもそんなヤングの気持を大切にしている店のオープンスペースからウインドを取り去ったショールーム、その隣のサービスマンコーナー、奥の用品コーナーと、すべてが表から見えるようにしたんです。

●用品コーナーと
 商談コーナーの一体化で
 セット販売率を大幅にアップ

ショールームと二番奥の用品コーナーだけはウインドで仕切られ、ここだけはちよっと異なった雰囲気ですが、じつはここが「YSP大阪北」さんのご商売のヘソでもあるのです。「用品コーナーと事務・商談コーナーを一体化してしまっただけですが、この狙いは商談を



商談は用品コーナーで「お客さまのバイクライフの夢をふくらませられて好評です」と辻社長（左）

スムーズに進めるためと、本体から用品やウェアまでトータルで話しをすすめるため。豊富な用品を目の前にして、お客さんが抱いているバイクライフの夢を、そのままふくらませてあげたい。そして、バイク本体と用品のトータルコーディネートへ、セット販売

へとつなげていきたい、というわけです。ヘルメットだけでも150個が展示され、ウェア、皮ツナギなども含め在庫総額1千万円にのぼるといふこの用品兼接客コーナー。そしてここにも辻社長のきめ細かな工夫がいくつも見受けられます。

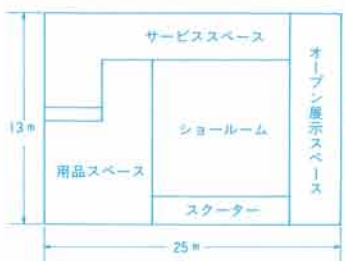


↑工夫をこらしたオリジナルPOPのかずかず。おしゃれなお店のセンスがお客様にも好評

←倉庫改装店舗とあって、ウィンドなしでショールームへ。中央ステージに話題の新商品、スクーターは壁面に2段展示



お客さまコーナーには貴重な情報がいっぱい



用品コーナーと商談コーナーを一体化して、セット販売にも効果をあげている



また、これと併行してショールームには、「ビッグブル」と題した来店したお客様のための落書き帳も置いてあります。これにも興味や自己PRの記入欄などもあります。そこからもそのお客様の性格や好みもつかめるんですよ」

そして、こうして集められた豊富なお客様さま情報をもとに「これからはYSPにふさわしいスポーツ活動の充実に取組んでいきたい」と意欲を燃やす「YSP大阪北」さん。ヤングマシン「モトチャンプ」2誌を通じての専門誌広告、3ヶ月に1回の5万枚の折込みチラシ、さらに年4回の新商品情報やニューモデル試乗会案内DM……といった活発な活動とともに、いまお店のクラブづくりのためのツリーング企画が、若いスタッフを中心にすすめられているところです。

「ひと月ほど用品専門店のディスプレイやレイアウトをじっくりと見てまわって、ずい分参考にさせてもらいました。」

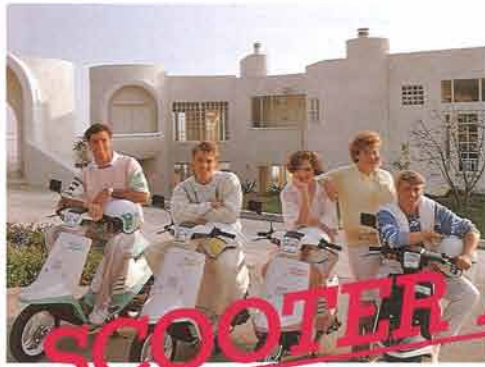
そこから、黒を基調にしてカラフルな用品にスポットライトを当てて浮き上がらせ、商品の質感をアップさせてみました。スポットライトは、100Wを15個、商品の価値感アップを考えれば決して無駄にはなっていないと思います。いつも店で仕事をしていると、視野が狭くなりがちですが、いろいろな業界の動きにも、いつも敏感でいたいですね」

● 普段の会話の中から 豊富なお客様さま情報を収集

さて、こうしたお店づくりとならぶ「YSP大阪北」さんのご商売の特徴は、お客様の正確な実態調査です。

「実態調査といっても別に特別なことをしているわけではありません。どうしてうちの店を知ったの?」「どんなキッカケで来たの?」などと、日頃の会話の中からそのお客様のデータをいろいろと聞き出しているんですよ。これだと、ヨソヨソしさもなく、お客様の顔を覚えられ、親しくなれて自然にそのお客様のバイクの使い方や遊び方もわかってしまうんですよ。」

初夏の爽やかな風にあわせて
お客さまのスクーターも
ハイセンスにリフレッシュ!



SCOOTER ACCESSORIES

ライトグリーンの香りがただよふ季節にピッタリな、ハイセンスで機能的な新商品をお届けしましょう。
さきに新発売した「ミント」や相変わらずの人気を誇る「ジョグ」、「キュート」、「トライ」など、ヤマハスクーターのためのアクセサリースです。皆さまのお店にもぜひこれらの商品をお揃えいただき、若いお客さまたちにも最も新鮮なパステルカラーの世界をご提供ください。



バスケットネット (写真下・左)

パステルカラーのファッションバスケットに合わせて作られた、かわいいカラーのバスケットネット。丈夫なゴム製で荷物の飛び出しを完全防止。片側ロック式の金具がついているため、使い勝手も一段と向上しています。●サイズ：250mm×320mm ●カラー：ブルー、レッド、ブラック、ライトブルー、ピンク、イエローの6色。
■標準小売価格：¥1,100

ツーリングネット (写真下・右)

大型の荷物をリヤキャリアやシート後部に取付けるためのゴム製ネット。スポーツモデルのお客さまの必需品。特製太ゴム使用の大型タイプです。●サイズ：420mm×420mm ●カラー：ブルー、レッド、ブラック、ライトブルー、ピンク、イエローの6色。
■標準小売価格：¥1,600



ファッションバスケット(テラックスタイプ)

パステルカラーも鮮やかなオシャレなフロントバスケットです。別売の取付金具の組み合わせで、ヤマハスクーター全機種に取付けが可能。新たにスクーターをお求めいただくお客さまはもちろん、既存のスクーターユーザーにも、ぜひおすすめください。●カラー：レッド、ブルー、グリーン、ピンク、ホワイト、ブラックの6色
■標準小売価格：¥2,800(レッド、ブルー、グリーン、ピンク) ¥2,600(ホワイト、ブラック)
※取付金具は別売で、ジョグ・トライ・ボックス・チャンプ・ミント用とシグナス125・アクティブ用、キュート用の3種類を用意。標準小売価格は、いずれも¥700です。



スクーターカバー

日射しが強くなるとともに、梅雨時も控えるこの季節に、ぜひご拡販いただきたいのがこのスクーターカバー。フロントバスケット使用車に可能なA(B)タイプから、フロント、リヤのバスケット取付車用のA1(B1)タイプ、さらにフロントバスケット&風防シールド取付車用のA2(B2)タイプやオールマイティなA3(B3)タイプまで、お客さまのスクーターに合わせておすすめください。●サイズ：小型スクーター用と大型スクーター用の2種類 ●素材：エステル素材使用。

■標準小売価格：小型スクーター用Aタイプ → ¥5,100
小型スクーター用A1タイプ → ¥6,100
小型スクーター用A2タイプ → ¥6,300
小型スクーター用A3タイプ → ¥6,800
大型スクーター用Bタイプ → ¥6,100
大型スクーター用B1タイプ → ¥7,100
大型スクーター用B2タイプ → ¥7,300
大型スクーター用B3タイプ → ¥7,700



ヤマハライダー勢ぞろい!
話題のヤマハ・キヤラクターTシャツも登場!



ヤマハ
レーシングチームA・表



平忠彦(国外)表

ことしも夏の話をもりあげるヤマハ・キヤラクターTシャツの登場です。
昨年、一昨年と人気を集めたヤマハ・ファクトリーライダーのイラスト入りTシャツですが、今年はマンガチックな似顔絵に加えて各ライダーのメッセージを英語で紹介。包装も、昨年好評を得たお店のディスプレイツールとしても使えるレコード版ジャケットスタイルを採用しています。
○アイテム/E・ローソン、K・ロバーツ、R・マモラ、M・ポールドウイン、平忠彦

(海外/国内)、K・ポアエン、B・グロバ、河崎裕之、上野真一、江崎正、片山信二、奥村裕、塩森俊修、平塚庄治、光安鉄美、伊藤敦志、ヤマハレーシングチームA、ヤマハレーシングチームB、チームラッキーストライク・ロバーツ、チーム・ソノート
○サイズ/M、Lサイズの2種
○素材/綿70%、ポリエステル30%
○標準小売価格/2500円
○発売日/5月1日

全国8販社で開催

'86~'87FALL & WINTER ヤマハライディンググッズ内覧会

バイクライフをトータルに演出するヤマハのライディンググッズ。その'86~'87秋・冬物のコレクション発表会が、3月から4月にかけて全国8販売会社の主催により開催されました。

今回、発表したニューコレクションは173アイテム。レーシングスーツをはじめとするレザーウェア類、各種ブルゾン、グローブ、ブーツ&シューズ、ヘルメット等で構成。いずれも、よりスポーティに、より機能的に、よりファッショナブルなセンスを重視して開発したもののばかりです。



ヤマハ
レーシングチームB・表



チームラッキーストライクロバーツ・表

●うちの用品コーナー

デッドスペースの 有効活用

らせん階段の下やショールームの角部に生じたちょっとしたスペースって、意外と無駄に見過しがちなもの。しかし、そこを生活提案のスペースとして有効利用しているのが、広島県の『YSP広島東』(山田修司社長)さんです。山田社長は「XTをアイキャッチャーとしてオフロードグッズを置いていますが、結構お客さまには刺激を与えている」とご満悦。ブーツ下に敷いた白いネットも、黒い床とのマッチングで、なかなかの効果を見せています。



THE LATEST AD



すきとおりたいな、ミント。

ヤマハ・ミント ● 新発売

MINT

標準価格(税別) ¥13,200 (¥14,220) (※消費税別) 北関東・沖縄を除く。サイズ約1940x530x1,020mm

みずみずしいあなただけのスクーター。ヤマハミントです。ミントカラーが、すべて新鮮のびやかな表情。軽やかな走り、かわいらしいルックス。今日から、新しい顔が楽しめます。ミントといっしょに、さわやかな気分が生まれて、とってもしゃべりあふれちゃいます。あ、気持ちよすぎた。さあ、さわやかに、ミント。こんなときが、初めてです。



YAMAHA

HAVE A NICE RIDE!

※ヘルメット等の安全用品は、必ず着用してください。 ● 任意の講習を受けたい方は、必ず講習場をお申込みください。 ● 公道走行の際は、必ずヘルメットを着用してください。 ● 公道走行の際は、必ずヘルメットを着用してください。 ● 公道走行の際は、必ずヘルメットを着用してください。

■すきとおりたいな、ミント——いま「ノンノ」、「J.J.」、「キャンキャン」、「アンアン」、「オリーブ」、「週刊セブンティーン」、「プチセブン」などのヤング女性誌には、このシドニー・ペニーの笑顔がいっせいに登場して、さわやかにミント新発売を告知しています。

■同時に「ポパイ」、「オリーブ」、2誌とのタイアップキャンペーンも展開し、全国ネットでスポット放映中のテレビCFとあわせてミント新発売を盛りあげています。

■旅立ちの春、フレッシュな気分で新生活のスタートを切ったヤング女性たちのフレッシュなファッショングッズ「ヤマハ・ミント」。さあ、お店でもこうした活発な広告キャンペーンと連動した積極的な「ミント新発売セール」をご展開ください。

●新カタログ完成のご案内

メイト、タウンメイト、YBを紹介したビジネスバイクカタログを改定。またXV750ビラーゴスポークホイール仕様のカタログを制作いたしました。さらに、今月号でご紹介のニューモデル、マイナーチェンジモデルのカタログも新発売日にあわせて用意しています。担当セールスマンにお問合わせのうえ、どうぞご利用ください。

